

第七十四回帝國議會
衆議院

森林法中改正法律案外一件委員會會議錄(速記)第三回

付託議案
森林法中改正法律案(政府提出)
林業種苗法案(政府提出)

會議

昭和十四年二月十四日(火曜日)午前十時二十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 小山邦太郎君

理事長野 綱良君 理事馬岡 次郎君

理事池田 清秋君 理事北 勝太郎君

理事小山田義孝君

松尾 四郎君

伊藤 五郎君

北原阿智之助君

篠原 義政君

猪野毛利榮君

中田 儀直君

小田 榮君

菊地養之輔君

同日委員福井甚三君及久山知之君辭任ニ付

其ノ補闕トシテ森榮藏君及稻田直道君ヲ議

長ニ於テ選定セリ

出席政府委員左ノ如シ

北海道廳長官 半井 清君

農林政務次官 松村 謙三君

農林省山林局長 村上富士太郎君

商工政務次官 今井 健彦君

樺太廳長官 棟居 俊一君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

森林法中改正法律案(政府提出)

林業種苗法案(政府提出)

○小山委員長 是ヨリ會議ヲ開キマス、昨

日ノ松浦君ノ質問ヲ繼續スルコトニ致シマ

ス——松浦君

○松浦委員 昨日特別會計ノ問題ニ付キマ

シテ樺太廳、北海道廳ニ質問ヲ繼續中散會

ニナリマシタノデ、實ハ引續キ其ノ特別會

計ノ延長ヲ聽キタイト思ヒマシタノデス

ガ、マダ御見エニナラスヤウデアリマスカ

ラ、法律案ノ内容ニ付キマシテ少シバカリ

御聽キシタイト思ヒマス、最初ニ御尋致シ

タイコトハ、第九條ノ問題ト第十條、第十

一條ニ關係スル問題デアリマスガ、「地方長

官必要アリト認ムルトキハ」ト云ウテ「行政

官廳ハ伐採ノ停止ヲ命シ又ハ其ノ者ニ代リ

テ自ラ伐採、造林其ノ他施業上必要ナル行

爲ヲ爲シ」云々トアリマスガ、第九條カラ

十一條ニ至ル此ノ法律案ノ内容ヲ見マス

ト、行政官廳ガ必要ト思ヒ、又ハ森林所有

者ガ必要デナイト云フヤウナ場合ニ、是ハ

ドウ云フ制度ニ依ツテ之ヲ行ハシメルノデ

アルカ、之ヲ御聽キシタイノデアリマス

○村上政府委員 十一條ニ依ツテ伐採停止

ヲ命ジマスノハ、九條ニ依リマシテ行政官

廳ガ認可シマシタ施業案ニ準據シテ伐採致

シマシタ時ニハ無論其ノ必要ハナイノデア

リマスガ、其ノ施業案ニ著シク離レマシテ

例ヘバ幼齡林、十五年生位ナ森林ヲ大面積

ニ互ツテ皆伐スル、ソレガ爲ニ治水上由々

シキ大事ヲ來ス、斯様ナ場合ニ於テ伐採停

止ヲ致シマス

○松浦委員 サウ致シマス、昨日モ此ノ

問題ニ付テ一寸觸レマシタガ、此ノ問題ノ

爲ニ申上ゲタノデナク、一ツノ例トシテ申

上ゲタノデアリマス、從來私有林ニ對スル

保安林制度ヲ施行セラレタ場合ニ、濫伐ヲ

防止センガ爲ニ、大面積ニ互ル地區ヲ一網

打盡ニ保安林ニ編入シテシマツテ、サウシ

テ現在尙ホ舊態依然トシテ之ヲ殘シテ居

ル、或ル一部ハ之ニ對シテ解除ヲ致シタ所

モアリマスガ、俗ニ舊保安林トマデ稱スル

ヤウナ大面積ノ保安林ヲ其ノ儘ニ存置シテ

置ク、其ノ爲ニ多數ノ森林所有者ガ經濟上

ノ行詰リヲ生ジテ居ル例ガ少クナイノデア

ル、此ノ種限界ガ中々面倒ナモノデハナカ

ラウカト思ヒマス、斯ウ云フ風ニ九條、十

條、十一條ハ全國的ニ森林組合ト云フモノ

ヲ作ラウ、施業案ヲ施行サセヨウト云フ政

府ノ考カラ、一齊ニ之ヲ行フト云フコトニ

ナルト、由々シキ問題ダト思フガ、之ニ對

シテ何カ政府ノ方デハ民間ノ意見ヲ徵スル

ヤウナ機關ヲ設置スル御考ヲ持ツテ居ルカ

ドウカ、ソレヲ御聽キシタイノデアリマス

○松村政府委員 只今ノ御話ノ點デアリマ

スガ、大體此ノ施業案ハ作ラセルコトニハ

ナツテ居リマスケレドモ、非常ニ所有者ノ

意思ヲ拘束シテ無理ナ施業案ヲ作ラサウト

云フヤウナ考ハ持ツテ居リマセヌデ、大體

計畫的ノ施業ヲサセルダケノコトデアリマ

スカラ、別ニ只今ノ所デハ民間ノ意向ヲ聽

カウト云フヤウナコトヲ考ヘテハ居リマセ

ヌ、併シ斯ウ云フ風デ施行ノ計畫ガ立ツテ

來マシテ、日本ノ民有林ニ統制ガアルヤウ

ニナリマスナラバ、只今御話ノ從來保安林

ノ制度ノ如キモ、特別ニ必要ナモノハ已ム

ヲ得マセヌガ、左様デナイ部分ハ保安林其

ノモノヲ——從來色々所有者ヲ拘束シマシ

タ保安林ヲ、漸次事情ニ依ツテハ解キマシ

テ、此ノ施業案デヤツテ行クト云フコトニ

モ爲シ得ルコト考ヘテ居リマス

○松浦委員 只今ノ御答辯ハ大變和ヤカナ答辯デアリマスケレドモ、條文ノ文字ヲ見マスレバ相當嚴格デアル、是ハ政務次官ノヤウナ御氣持ノ地方長官デアレバ問題ハナイガ、正宗ノ名刀モ使ハセル人ニ依ツテハ世ノ中ヲ害スルコトガアル、斯ウ云フ文字ヲ使ツテ置イテ、多數ノ取締ヲスル人々ガ、思ヒ／＼ノ自分ノ見解カラ、此ノ名刀ヲ振り廻シタ場合ニハ、傷ツク者ガ多數出テ來ハシナイカト云フコトヲ非常ニ憂慮スルノデアリマス、若シ左様ナ御考ナラバ、此ノ條文モ改メタラドウカト私ハ思フ、今マデ斯ウ云フコトニ付テ、議會デ法律案ハ通スガ、委員會ノ答辯ト、實際ニ行ハレテ居ル狀況トノ違フ點ハ、茲ニ申上ゲル違ノナイ程多々アルノデアリマス、デスカラサウ云フ御氣持ナラバ、斯ウ云フ嚴格ナ文字ハ廢シタラ宜イト思フ、モウ一ツハ、所有者ノ意思ヲ忖度シテ弾力性ノアルヤウニ施業案ヲ組ミ、殊ニ十一條ニアリマス所ノ「生活ヲ維持スル爲已ムヲ得サル」云々ト云フ文字ノ如キ、斯ウ云フヤウニ一方ニ硬イ文字ガアルカト思ヘバ、「生活ヲ維持スル爲已ムヲ得サル」云々ト云フコトガアリマスガ、一體此ノ施業案ト云フモノハ、左様ニ彈力

性ノアルモノニシテ、果シテ早伐、過伐、濫伐ガ防ゲルモノデアルカト云フコトモ考ヘル、片一方ニ於テ彈力性ノアルモノニスレバ、本當ノ濫伐、過伐、早伐ト云フコトハ防ゲナイ、同時ニ嚴格ナモノニシナケレバ本當ノ政府ノ目的ハ達セラレナイト云フコトニナリマス、若シ嚴格ノモノニシテ行クト云フコトナラバ、茲ニ金融問題ガ生ジテ來ル——私ハ時間ヲ節約スル爲ニ色々細カシイコトハ聽キマセヌガ、過日内容ノ御説明ヲ聽キマシタ時ニ、五十町歩以上ノ所有者ニ對シテハ、單獨ノ施業案ヲ命ズル、ソレ以下ノモノニ對シテハ組合組織ヲサセルト云フコトデス、サウナリマスト一ツノ組合ノ中ノ森林所有者ノ數ト云フモノハ、實ニ大キナモノデアリマス、澤山ナ人数ニナリマス、ソレガ施業案ヲ組ム場合ニ、其ノ個人ノ意思一ツ／＼ヲ施業案ノ中ニ入レテヤルト云フコトニナルト、一ツノ森林施業計畫ト云フモノノ中ニハ、多數ノ形ノ變ツタ施業案ヲ組マナケレバナラスコトニナリマス、是ガ農林當局ノ考ヘテ居ラレル所ノ内容デアリマス、斯ウナルト一方ニ於テ之ヲ指導スル所ノ技術員ノ問題ニナリマサ、從來國有林デヤツテ居ル施業案ノヤウナ單純ナモノデモ、相當ナ技術ヲ要シマス、

然ルニ此ノ森林組合ノ技術員其ノモノハ、ドウ云フ人ヲ物色シテ推薦サレルカ私ハ知リマセヌガ、此ノ多數ノ思ヒ／＼ノ施業案ヲ組マナケレバナラスト云フヤウナ難シイコトヲ、果シテ此ノ技術員デ出來ルカドウカ、私ハ此ノ點ニ付テ色々政府ノ意見ヲ聽キタイコトハ、技術員ハドウ云フ程度ノ人ヲ大體何人位採用シテ、施業案ハドウ云フ風ナ内容ニ組ムカ、百人ノ所有者ガアレバ、百種ニ施業案ヲ組ム考デアルカ、或ハ農林省ニ十種トカ、二十種トカ、三十種トカ云フ施業案ノ標準型ヲ決メテ置イテ、地形其ノ他ノ狀況ガ何號型ニ合フカラ、之ニ依ツテヤラウト云フ方針デナサレルノデアルカ、或ハ技術員ニ全部任セテ、一ツノ組合ノ中ニ組合員ガ百人アルナラバ、其ノ百人ノ考ニ依ツテ百種ニ組マセル考デアルカ、竝ニ其ノ彈力性ト云フモノノ内容ハ、一體ドウ云フ風ニサレルノデアアルカト云フコトニ付テ私ハ聽キタイト思ヒマス

○村上政府委員 森林組合ノ場合ニ於テ、組合員ガ相當多數ニナルノデ、ソレ等ノ言分ヲ聽イテ施業案ヲ作ルコトハ中々難シイコトデハナイカト云フ御話デゴザイマスガ、成程サウ云フ點モアラウト思ヒマス、併シナガラ御承知ノ通り吉野ナラバ吉野、尾鷲ナラバ尾鷲、天龍ナラバ天龍、サウ云フ林業地ニ於キマシテ林業ヲ經營シテ居ル人ハ、大體同ジヤウナ傾向ノ林業經營方法ヲ採ツテ居ルノデアリマシテ、格段離レテ傾向ノ林業經營方法ヲ採ツテ居リマセヌ、隨テ組合員ハ多數デアリマシテモ、其ノ施業ノ形態、施業ノ實情ト云フモノハ大體同ジモノデアラウト思ヒマス、又私共ガ此際第九條ニ依ツテ作ラセヨウト云フ施業案ハ、地方地方ノ實情ニ應ジタ施業案デアリマシテ、隨テ吉野ノ地方デアレバ、現在ヤツテ居ラレルヤウニ密植シテ、次第ニ間伐ヲシテ行ツテ、最後ノ伐期ハ九十年ナリ、百年ニ組マセルト云フヤウナ森林經營方法ガ、其ノ儘施業案ノ内容ヲ爲スモノト思ヒマス、又尾鷲ナリ、天龍ナリナラバ、杉ナリ檜ナリヲ植エマシテ、ソレニ連レテ伐期モ吉野アタリカラ見ルト相當短縮サレテ傾向ノ慣行トナツテ居ル、其ノ内容ガ即チ施業案ノ内容トナリマス、斯様ニ致シマシテ、大體現在林業ノ相當行ハレテ居リマスル所ニ於テハ、現在ヤツテ居ラレル林業形態其ノモノガ施業案ニナリマス、唯此ノ際規制サレマスコトハ、其ノ中特ニ幼齡林ノ早伐ト云フモノガ規則サレルノデアリマシテ、伐期ニ達シマシタ木ヲ皆

伐スルト云フコトハ、無論ソレハ施業案當
然ノ認メル所デアラウト考ヘマス

尙ホ技術者ニ付キマシテハ、少クトモ甲
種農林學校程度ヲ卒業致シマシテ、數年間
實務ノ經驗ノアル者ヲシテ、此ノ施業案編
成ノ事務ニ從事セシムル、隨テ吾々ノ意思
ヲ是等ノ者ニ反映セシムル爲ニハ、勿論此
ノ森林法施行ト共ニ、地方廳ニ付テハ十分
ナル注意ヲシ、ソレカラ施業案ノ意味、ド
ウ云フ施業案ヲ組ムカト云フコトニ付テモ、
十分ノ打合せ並ニ指導ヲ致サナケレバナラ
ヌ、又森林組合ノ技術員タルベキ者等ニ付
テハ、短期講習等ノ必要モアラウト考ヘマ
ス

○松浦委員 何人位採用シマスカ

○村上政府委員 人數ニ付キマシテハ、十
年後ニ於キマシテハ三千人トナツテ居リマ
ス、併シ是ハ逐次採用シテ行キマスカラ、
初メカラ是ダケヲ採用シテ行クト云フ譯デ
ハアリマセヌ

○松浦委員 甲種農林學校ヲ卒業シタ人ニ
依ツテ、此ノ重大ナル「リーダー・シップ」
ヲサセルト云フコトニナル、私ハ學校ヲ卒
ヘタバカリノ若い人ヤ——サウ申上ゲルト
失禮デゴザイマスガ、御役所ヲオヤメニナ
ツタ御年ヲ取ツタ方デハ、連モ此ノ仕事ハ

私ハ出來ナイノデハナイカト思フ、ソレデ

講習ヲヤルト御言ヒニナリマスガ、其ノ講
習モ程度ガアルノデアリマシテ、短期講習
位デ此ノ重大ナル仕事ヲサセルコトハ難カ
シイ、却テ從來自分ノ山トシテ持つテ居ッ
タ所有者ノ方ガ遙ニ技術ガ進ンデ居ルノデ
ハナイカ、ソコニ全然所有者ノ意見ヲ入レ
ナイデ、官僚意識ヲ發揮シテ、其ノ技術員
ガヤルト云フコトニナリマスナラバ、寧ロ
害ガアツテモ益ガナイト云フ結果ニ私ハナ
リハセヌカト云フコトヲ憂慮致シマス、私
ハ此ノ際民間林業家ノ中デ、其ノ組合員中
ノ優秀ナル技能ヲ持ち經驗ヲ持つタ人ヲモ
政府ガ之ヲ斡旋シ、其ノ箇ニ當ラシムル考
ガアルカドウカト云フコトニ付テ御伺致シ
タイ

○村上政府委員 御説御尤デアリマシテ、
此ノ施業案ハ所有者ガ自ラ出來レバ自ラ作
ルノガ當リ前、唯全部ノ所有者ガ自分デ作
レルト云フ譯ニモ行クマイト思フノデ、斯
様ナ場合ニ於テハ技術員ニ作ラセル、斯ウ
云フ譯デアリマス、森林組合ノ場合デアッ
テモ、自分ガ自ラ施業案ヲ作ル場合デアッ
テモ、雇用主ハ所有者若クハ森林組合デア
ツテ、組合ノ技術者ハ其ノ雇ハレデアリ
マスカラ、所有者ナリ組合ノ命令ニ依ツテ

其ノ意思ヲ反映シテ作ルベキモノデアラウ

ト思ヒマス、勿論此ノ組合等ノ仕事ヲスル
者ガ、學校出ト云フコトハ必ズシモ重大ナル
要件デハナイノデアリマス、地方ニハ現ニ
學校ハ卒ヘナイケレドモ、林業ニ熱心デ、
其ノ實務ニ付テ非常ニ鍛鍊サレテ居ル方ガ
居ラレマス、又吉野方面デハ實際學校ハ卒
ヘナイデモ、森林管理者トシテ優秀ナ技術
ヲ持つテ居ル人ガ相當大勢居ラレマス、是
等ノ方々ハ無論斯ウ云フ時ニハイノ一番ニ
其ノ方面ニ當ツテ戴ク、斯ウ考ヘテ居ルノ
デアリマス、決シテサウ云フ者ヲ排除シ、
第二ニ置クト云フ譯デハアリマセヌ、ソレ
ヲ先ヅ第一ニ置イテヤラネバナラス、斯ウ
考ヘテ居リマス

○小山委員長 松浦委員ニ御諮リ致シマス、
アナタノ御要求デ商工政務次官ガ御見エニ
ナツテ居リマス、今井政務次官ニハ貴族院
ノ本會議ノ方ニ御出席ナサルコトニナツテ
居リマスノデ、商工省ニ關スル御質疑ガア
リマシタラ、此ノ際御願スルコトガ便宜デ
アラウト思ヒマス

○松浦委員 ソレデヤ此ノ問題ハ此ノ次ニ
致シマシテ、商工省ノ方ニ聽キタイト思ヒ
マス、木材ノ公定價格ヲ決定スルカドウカ
ト云フコトニ付テノ問題デゴザイマスガ、

商工省デハ最近二月ニ入リマシテカラ之ヲ
決定スベク一ツノ委員會ヲ設ケラレマシテ、
色々トサレテ居ルヤウナコトヲ風聞致シマ
スガ、ソレニ付キマシテ、私ノ意見ヲ少シ
申述ベタイト存ジマス

滿洲ニ於キマシテモ木材ノ公定相場ヲ決
定致シマシテ、米松ノ中丸太一石二十二圓
ノ標準價格ヲ決定致シマシタガ、現在行ハ
レテ居リマス所ノ闇取引ハ三十二圓デ行ハ
レテ居ル狀況デアリマス、又朝鮮ニ於テモ
同様近ク是ガ行ハレヨウトシツツアリマス、
滿洲ハ申スマデモナク昨年ノ六月三十日ニ
輸出ヲ禁止致シマシテ、殆ド木材ニ付キマ
シテハ滿洲ハ鎖國的ニ行ハレテ居リマスガ、
朝鮮モ朝鮮自體ノ生産スルモノハ非常ニ少
イモノデス、ソレデ日本ノ内地ノ現狀ニ於
テ、朝鮮ヤ滿洲ノヤウニ單純ニ是ガ行ハレ
ルカドウカト云フ問題デゴザイマスガ、現
ニ商工省デハ下駄ノ相場ヲ決メタリ、木材
ノ相場ヲ決メタリシテ居ラレマスガ、下駄
ノ相場ヲ御決メニナルト、下駄ガ安イモノ
デスカラ、安イ値段デ下駄材ニナルモノシ
カ下駄ニナラナイ、アトノ良イモノハ全部
他ノ方面ニ行ツテシマヒマス、ソレデ内地
ニ於テ木材ノ公定相場ヲ決定スルト云フコ
トデ、風聞シマス、先ヅ羽柄物カラ之ヲ

行フト云フコトデアリマスガ、羽柄物ヲ假ニ決メルト申シマシテモ、其ノ規格ハ全ク不統一ナモノデアリマス、若シ商工省ガ木材ノ公定相場ヲ決定スルトスルナラバ、其ノ前ニ考ヘネバナラヌ問題ガアル、此ノ間政府ノ方カラ、全國ニ於テ木材規格ノ行ハレテ居ル縣ニ付テ參考書ヲ戴キマシタガ、僅カノ縣ガ一ツノ検査ヲヤツテ居ル、其ノ検査ハ本當ニ公定相場ヲ決定スベキヤウナ準備ノ検査デハナイ、唯手前味噌ニナルカモ知レマセヌガ、北海道デヤツテ居ル木材検査ダケガ公定相場ヲ行フ時ニ參考ニナル位ノモノデアル、他ノモノハ正量検査デアリ、或ハ一ツノ原木ノ検査デアルト云フヤウナ單純ナモノデアリマシテ、公定相場ヲ決定スルナシト云フ基礎工作ハ今日ノ木材、森産物ノ上ニハ殆ド出来テ居ラス、若シ之ヲヤルナラバ、先ヅ規格ノ統一、加工ノ統一、其ノ他各種ノ之ニ對スル統一ヲ圖ラナケレバ、ドウシテモ行ハレルモノデヤナイト思フ、假ニ一ツノ相場ヲ決定スルト致シマシテモ、一ツノ節ガアルコトニ依ツテ相場ガ公定ノ中ニ入ツテ行カヌ、規格ガ合ハスト云フトコニナルノデアリマスカラ、斯ウ云フヤウナ現状ニ於テ商工省ガ公定相場ヲ決定シヨウトスルナラバ、ドウ云フ標準

ニ依ツテオヤリニナルカ、又其ノ公定相場ノ基礎ノ算出ハ何處カラ持ツテ行カレルカ、今私ハ其ノ方法論ヲ申上ゲマシタガ、其ノ公定相場ノ基礎ノ算出ハ何處カラ持ツテ行クカ、私共ノ考カラ行クナラバ、公定相場ヲ茲ニ作ルトスルナラバ、人工植栽林ニ依ル投資利潤ヲ基準ニシタ生産「コスト」カラ出發シタモノデナケレバ、今日ノ林業家ハ立タスト思フ、今マデ日本ニ於テハ、世界ノ市場ノ關係カラデハアリマセウガ、市場ノ逆算ニ依ツテ總テガ行ハレテ居リマシテ、愛林思想カラ國土ニ木ハ植エラレテ居ルガ、算盤勘定カラ木ハ植エラレナカツタ、其ノ結果過日農林大臣モ申サレマシタヤウニ、四十万町歩ト云フヤウナ大キナ穴ガアイテ居ル、原因ハソレダケデヤナイガ、兎ニ角算盤勘定ガ合ハナイ、最近ニ於テ少シ林業家ハ算盤ニ合フヤウニナツテ來タ、何處デモ採算ガ合フヤウナ時代ニナツテ來タ、今度公定相場ヲ茲ニ決定スルトスルナラバ、ソレハ人工植栽林ヲ基礎ニ置テ、ソレヲ標準ニスル所ノ公定相場デナケレバ意味ヲ成サヌデハナイカ、斯ウ考ヘマスガ、商工省ハ之ニ對シテ、若シヤルナラバドウ云フ方法デ、ドウ云フ基礎計算ニ依ツテ之ヲ行フノデアアルカト云フコトヲ一ツ御聽シタイノ

デアリマス

○今井政府委員 林産物ノ公定價格ヲ設ケル意思ガアルカト云フコトデアリマスガ、私共物價問題ノ解決ノ上カラ考ヘマスルニ、總テノモノニ公定價格ヲ付ケルト云フコトデナケレバ、一ツダケ押ヘテモ物價ト云フモノハ決メルコトガ出来ナイ、出来得ルナラバ其處ヘ持ツテ參リタイノデス、併シ林産物ノヤウナモノハ、價格ノ選ビ出シト云フコトガ非常ニ困難ナコトデアアルコトハ御承知ノ通りデアリマス、デスカラ之ヲ若シ決メルト致シマスレバ、何處ヘ持ツテ行クカト云フコトハ餘程研究シナケレバナラス、今直チニ決定スルト云フコトハ困難デヤナカラウカ、斯ウ考ヘテ居リマス、此ノ事ニ付キマシテハ、將來ニ於テ若シ決定スル場合ニハ、商工省ダケデ決定スルコトハアルマイ、農林省トモ打合セマシタ上デ決定致シタイト思ヒマス

○松浦委員 最近ニ於テオヤリニナル御考ハ持ツテ居ラツシヤイマスカ

○今井政府委員 出来ルナラバヤリタイト思ヒマスガ、中々ソレハ出来ナイダラウト思ヒマス、若シ不自然ナ安イ値段デ價格ヲ決定シマスレバ、賣ル人ハナクナツテシマフノデヤナイカ、サウシタラ木材ナシト云

フモノハ世ノ中ニ出テ來ナイ、茲ニ非常ナ惱ミガアル、デスカラ之ヲ決定スルマデニハ相當ノ期間ヲ要スルダラウト思ヒマス

○松浦委員 ソコデモウ一ツ、私ハ農林省ト商工省ニ對シテ質問ト意見ヲ一緒ニ述ベタイト思ヒマスガ、木材事務ニ關スル一切ヲ農林省ニ移管シタラドウカト云フ問題デアリマス、是ハ肥料ガ從來商工省デ行ハレテ居タモノガ皆サンノ御承知ノヤウナコトニ依ツテ農林省ニ移管サレマシタ、之ニ付キマシテ色々實例ヲ調べテ持ツテ居リス、併シ斯ウ云フコトヲ率直ニ申上ゲマスコトハドウカト思フノデ省キタイト思ヒマスガ、ドウモ商工省ト農林省ト別々ニ一ツノ事業ヲ行ツテ居リマスノデ、色々ナ障礙ガ實際ノ上ニ現ハレテ來テ居リマス、其ノ例ヲ一ツダケ申上ゲマス、一昨年企畫院デ昭和十七年度マデニ對スル五箇年ノ「パルプ」計畫ヲ立テラレタコトハ言フマデモナイノデアリマスガ、其ノ企畫院ノ「パルプ」計畫ト商工省ガ實際工場ヲ認可サレタ數トハ、ソコニ大キナ喰違ヒガ生ジタ事實ガアルノデアリマス、最初ハ粗穀ヤ「バガス」ヤ藁ヤ其ノ他ノモノデ工場ヲ拵ヘルト云フコトデ認可サレタ、所ガ、ヤツテ見ルトサウ云フモノデハ合ハナイ、結局農林

省ノ方ノ木材資源、森林資源ニ依ラナケレバナラナイト云フコトニナツタ、併シ農林省側ノ供給困難ナ情勢ニナツテ居ルコトハ言フマデモナイコトデアリマス、其ノ他舉ダレバ色々ナ問題ガゴザイマスケレドモ、是ハ内部ニ入ルコトデアリマスカラ申シマセヌガ、業界ノ將來ヲ考ヘ、森林利用ノ將來ヲ考ヘテ、此ノ際木材ニ對スル一切ノ事務ヲ商工省カラ農林省ニ移管サレタラドウカ、其ノ方ガ業者ノ發達ノ爲ニ宜イノデハナイカ、分ラヌモノヲ手探リシテヤルヨリモ分ツタ者ニシツカリヤラス方ガ本當デハナカラウカ、斯ウ考ヘテ居リマス、此ノ問題ニ付テハ今直チニ兩次官ガ吳レトモヤルトモ言フコトハ出來マイガ、私ハ是ハ移管スベキモノデアルト考ヘテ居ルノデアリマス、若シソレニ對スル御意見ガゴザイマスカラバ兩次官カラ一ツ參考ノ爲ニ御聽キシテ置キタイト思ヒマス

○今井政府委員 御説ハ御尤ナコトト思ヒマス、現ニ肥料ニ付キマシテモサウ云フ問題ガ起ツテ居リマスシ、又蠶糸ノヤウナモノモ一元的ニ農林省ガ世話シテ居ルノデアリマス、物ニ依リマスレバ、サウシタ方ガ宜イカモ知レマセヌ、併シソレハ何處カラ何處マデヤルト云フコトハ中々難シイコト

トダラウト思ヒマス、私共、一體カラ考ヘルナラバ、國ノ行政機構ヲ大キク改革シテ、サウ云フモノヲ根本的ニ整理スルノガ宜イノデハナカラウカト考ヘテ居リマスガ、ドレドレヲ農林省ニ移シ、ドレノヲ商工省ニ移スト云フコトハ、マダ決定シテ居リマセヌ

○松村政府委員 私モ大體今井商工政務次官ノ御答辯通りニ考ヘマス

○松浦委員 商工省ニ對スル御尋ハソレダケデゴザイマス——先程ノ施業案ノ内容ニ戻リマスガ、十一條ノ末尾ニアリマス所ノ「生活ヲ維持スル爲ニムヲ得サルニ出テタル伐採ニ付テハ之ヲ適用セス」此ノ内容ハ一體下ノ程度ノコトデアリマスカ

○村上政府委員 是ハ例ヘバ其ノ木ヲ伐ラナケレバ一家離散スルト云フヤウナ場合デゴザイマス

○松浦委員 其ノ限度ハ……

○村上政府委員 限度ヲ一口ニ申上ゲルコトハ中々難シイコトデ、其ノ時ノ其ノ人ノ實情ニ依ラナケレバナラヌト思ヒマスルガ、大體其ノ木ヲ伐ラナケレバ其ノ人ノ家ガ立チ行カナクナル、即チ其ノ木ヲ伐ラナイ時ハ或ハ一家ヲ擧ゲテ他地方ニ流浪シナケレバナラス、或ハ破産シテシマフ、從來通り

ノ生活ヲシテ行カレナイ、サウ云フヤウナ時ニ之ヲ許ス、隨テ其ノ木ヲ伐ラナクテモ他ノ物ヲ處分スレバ生活ハ立チ行クノダケレドモ、是ガ一番便利ダカラ伐ル、斯ウ云フノハ含マナイノデゴザイマス

○松浦委員 ソレカラ同ジ十一條デスガ、施業案、造林、其ノ他ノ政府ノ命令シタコトヲヤラナイ場合ハ、政府ガ之ヲ代行シタル、其ノ費用ハ行政官廳ニ於テ行政施行令第六條ノ例ニ依リ之ヲ徵收スルコトヲ得ルモノトスルト云フコトニナツテ居リマス、此ノ條文ヲ讀ンデ見マスト、森林ノ所有者ハ成タケ其ノ森林ノ所在地ニ多クセシメタイ、サウシテ現在ノ私有林ヲ成タケ多クノ人ニ持タシテ置キタイト云フ氣持ダト云フ御説明ガゴザイマシタノデ、若シサウダトスレバ、此ノ條文トハ合ハナイコトニナル、政府ニ代行シテ貰ツテ、其ノ金ガ拂ヘナケレバ競賣サレテシマフ、サウスルト、競賣ノ結果ハドウナルカ、折角大衆ニ持タシテ置イタ山ヲ全部資本家ガ買ツテシマフコトニナルノデス、場合ニ依ツテハ其ノ地方ノ者ガ買ヘナクテ不在地主ノ金持ガ來デドン買ツテシマフカモ知レナイ、過日ノ御話デハサウ云フコトハナイヤウナ御話デゴザイマシタガ、實際之ヲ本當ニヤツテ見ル

ナラバ、山ハ全部資本家ノ物ニナツテシマフ、私ハ斯ウ云フヤウニ考ヘルガ、之ニ付テ政府ハドウ云フ御考デアリマスカ

○村上政府委員 十一條ニ依リマシテ政府ガ自ラ造林等ヲ致シマシテ、其ノ費用ヲ強制的ニ取上ゲルト云フコトハ、是ハ最後ノ寶刀トモ謂フベキモノデアリマシテ、濫リニ濫用スベキモノデハナイト思ヒマス、從來トモ此ノ規定ハ一部存在シテ居リマシタガ、ソレヲ今後擴充シタダケデアリマシテ、從來トモ之ヲ濫用シタコトハナイ、恐ラク一度モ使ツタコトガナカラウト思ヒマス、今後ト雖モ通常ノ場合ニ於テハ無論政府ガ勸告シ懲罰シテ、ソレデ大體済ムコトト思ヒマス、特別ノ場合ニ於テ、ドウシテモ其處ニ造林シナケレバ洪水ガ起ルト云フヤウナ場合ニノミ適用スルコトニナルト考ヘテ居リマス

○松浦委員 政府ハサウ御考ニナルデセウガ、大體現在ノ森林所有者ノ財力ヲ考ヘテ見マスト、御話ノヤウニ施業案ヲ組ンデ造林シテ行ケバ、今日政府ガヤカマシク言ツテヤラナクテモ宜イデス、政府ノ考ヘルヤウニ、早伐、過伐、濫伐ガ行ハレナイデ、施業案ガ立テラレテ、ドン／＼造林サレル、植栽ガ行ハレルヤウニ行ツテ居レバ、此ノ

法律ハ無クテモ宜イノデス、ソレガ行ツテ
ナイモノダカラ、之ヲヤラナクテハナラナ
イ、サウナルト此ノ施業案ヲヤルコトニ依
ツテ之ヲ強制シテ行クト云フコトニナル、
何故ソレヲヤラナカッタカト云ヘバ、財力
ガソレニ伴ハナカッタカラデス、先程申シ
マシタウニ、算盤勘定ニ合ハナイ點モア
ツタノデセウガ、大體ニ於テ財力ガ伴ハナ
カッタカラ今日森林ニ穴ガアイテ來タ、是
カラ考ヘテ見レバ之ヲ強行スルナラバ各所
ニ此ノ問題ガ出ルト云フコトハ、全部ガサ
ウ思ツテ居ルト思ヒマス、私一人ノ意見デ
ヤナイト思フ、全部ノ森林所有者ハ政府ニ
此ノ法律案ヲ強行サセラレテ、施業案ヲ全部
組マレテ、サウシテ早伐過伐ヲ抑ヘラレル、
斯ウ云フコトニナルナラバ、財政上カラ來
ル問題ハ必ズ來ル、各所ニ此ノ問題ハ展開
シテ來ルト思フ、ソレハ例外ト言ハレルデ
セウガ、此處ニ立派ナ法文ヲ作ツテ居ル以
上政府ガ之ヲ行カナクテハ國土ノ保
安、或ハ森林資源ノ培養ニモナラナイ、サ
ウ云フ風ニ考ヘマスナラバ、是ハ結局大衆
ノ持ツテ居ル山ヲ全部最後ハ資本家が競
賣ニ依ツテ競落シテシマフト云フ風ニ
私ハ考ヘベキデヤナカラウカト斯ウ考ヘ
ルノデアリマスガ、其處ニ行ツテ伴ツ

テ來ル問題ハ、金融ノ問題デアリマス、
政府ハ此ノ金融ノ問題ニ付テドウ云フ取扱
ヲスル考デアルカト云フコトヲ聽キタイ
○松村政府委員 森林金融ノ問題ハ是ハ極
メテ重大ナ問題デアリマシテ、政府ト致シ
マシテモ、此ノ點ニ付テハ相當ニ考慮ヲ致
ス積リデアリマス、但シ此ノ改正案ノ結果
ト致シマシテ、特ニ金融ガ從來ヨリモ惡ク
ナルト云フ風ニハ考ヘテ居リマセヌ、寧ロ
此ノ改正ガ行ハレマスルト、組合ノ組織等
ニ依ツテ金融ノ疏通ガ以前ヨリモ却テ好ク
ナルモノト考ヘテ居リマス、併シナガラ之
ヲ以テ森林ノ金融ガ足レリトハ考ヘテ居リ
マセヌノデ、今度モ省省ニ森林金融ニ關ス
ル調査ノ委員會ノヤウナモノヲ作りマシテ、
既ニ其ノ調査ニ著手致シテ居リマス、只今
ニ於キマシテハ、特ニ別ノ森林ノ金融金庫
ヲ作りマスカ、或ハ勸業銀行ノヤウナ所カ
ラ通ジテヤリマスカ、ソレ等ノコトハ決ツ
テ居リマセヌケレドモ、今度ハ十分サウ云
フ調査會デ
〔委員長退席、北委員長代理著席〕
調査ヲ致シマシテ、此ノ問題ノ解決ヲ致シ
タイ、左様心得テ居リマス
○松浦委員 此間本會議ニ於キマシテモ松
尾サン馬岡サン竝ニ長野サンカラ此ノ御話

ガゴザイマシテ、或ハ森林組合中央金庫ノ
論モアリ、或ハ其ノ他ノ勸業銀行ノヤウナ
特殊銀行ニ依ルト云フ論モゴザイマシタガ、
低利資金ヲ運用サセルト云フコトガ政府ニ
アルナラバマダシモデアリマスガ、特殊銀
行、勸業銀行カラ金融ノ途ヲ講ジサセルト
云フ場合ニ、政府ハ此ノ國家資源ヲ培養ス
ベキ竝ニ國土保安ニ對スル所ノ重大ナル森
林事業ニ對シマシテ利子ノ補給ヲスル考ヲ
持ツテ居ルカドウカト云フコトヲ聽キタイ
○松村政府委員 ソレハ必要ノ場合ニハ考
慮サルコトトハ思ヒマスケレドモ、只今
ハ左様ナ考ヲ持ツテ居リマセヌ、此ノ組合
ガ出來、又森林金融ノ系統ガ定マリマスナ
ラバ、今御話ノヤウナコトヲ必要トスル場
合ニハ便利デアルト思ヒマシテ、先ヅ森林
金融ノ形態ヲ整ヘタイト思フノデアリマス、
只今ノ所デハ利子ノ補給等ノ考ハ持ツテ居
リマセヌ
○松浦委員 私ハ森林金融問題ニ付テハ、
斯ウ云フコトヲ考ヘテ居リマス、利廻ノ遲
イ國家資源ノ培養國土保安ノ重要ナル使命
ヲ持ツテ居ル森林ノ問題デアリマスカラ、
是ハ政府ガ幼齡植栽ニ對スル一定ノ低利
資金ヲ貸シテ、地方ノ營林區署ガ管理ヲス
ル、サウシテ伐ツテ出シタ時分ニ其ノ低利

資金ヲ返還スルト云フコトガ、本當ニ國家
資源ヲ培養スル意味デハナカラウカト思フ、
政府ガ此ノ森林法ノ改正ヲ行ツテ、國家ノ
資源ヲ培養シ、國土ノ保安ヲ確保スルト云
フコトナラバ、此處マデ行カナケレバ本當
ノモノデハナイト思フ、ソレデナケレバ、
結局先程申シマシタヤウナ國稅徵收法ニ依
ツテ全部競賣サレテシマフト云フコトニナル、何
故ナラバ、現在ノヤウナ濫伐過伐ヲ行ツテ
初メテ維持ガ出來テ居ル、之ヲ抑ヘテ行ク
ト云フナラバ、ドウシテモ此ノ結果ガ生ジ
テ來ルデヤアリマセヌカ、斯ウ云フ場合ニ
於テ、其ノ幼齡林ヲ一定ノ調査機關ヲ設ケ
テ其ノ價格ヲ算定シテ、ソレニ國家ノ低利
資金ヲ貸與スル、ソレヲ地方ノ營林區署ガ
管理スル、サウシテ伐ツテ出シタ場合ニ初
メテソレヲ償還シ、植エタ人ノ取ルベキ純
益ハ其ノ森林所有者ガ取ルト云フコトデ初
メテ私ハ綜合的ノモノデアルト思フガ、之
ニ付テ次官殿ノ御答辯ヲ聽キタイ
○松村政府委員 御意見ハ至極同感デアリ
マシテ、私共ハ斯ウ云フ長イ將來ノ收益ヲ
見込ム事業ニ於キマシテハ、幼齡林ノ場合
ニ於テ、低利ノ資金ヲ融通シテ、サウシテ伐
採ノ時ニソレヲ償却スル、ソレハ國ノ機關
デアル營林區署ガ幸ニ各地ニアリマスカラ、

サウ云フ所デ出來ルダケノ御世話ヲスルト云フコトハ、是ハ非常ニ必要ナコトト考ヘテ居リマス、此ノ點ニ付キマシテハ十分ニ研究ヲ致シマシテ、先刻申シマシタ調査會モ今設ケテアルコトデアリマスカラ、其ノ點ヲ考慮致シマシテ御意見ニ副フヤウニ致シタイト思ヒマス

○松浦委員 只今ノ問題ハ至極重大ナ問題デアリマスシ、十分政府ノ御考慮ヲ望ミマス、次ニ森林組合ノ事業限度ノ内容デアリマス、運搬、加工、保管及ビ販賣ニ關スル施設ト云フ問題デアリマスガ、是ハモウ再三個人的ニモ政府當局ト話フシタコトガアリマスガ、私ハ此ノ問題ハ相當重大ナ問題ダト思フ、私ハ多クヲ申上ゲマセヌガ、之ニ對スル所ノ答辯ヲ一ツ御聽キシタイ

○松村政府委員 モウ一度一寸詳シク御願シマス

○松浦委員 第七十條中ノ森林組合ノ事業ノ限度デアリマス、森林組合ガ此ノ七十條ノ事業ヲ行フト云フコトニナルト、木材ノ小配給機關ト云フモノハ殆ド仕事ヲ失ツテシマフト云フ結果ニナルト私ハ思ヒマス、是ハ色々話ガアリマスガ、連モ森林組合ハ其處マデアレナイ、資金ガ無い、或ハサウ云フヤウナ技術ヲ持ツテ居ナイト云フコト

デアリマスガ、是ハ何レモ人間ノヤルコトナンデアル、是ハ二ツノ議論ガアリマス、森林所有者カラ見ルナラバ、之ヲ産業組合式ニドシ、發達サシテ、中間ノ搾取ヲ除イテ直接市場ニ出スト云フコトガ一ツノ森林所有者側ノ森林組合トシテ考フベキコトデアル、又森林組合トスルナラバ、サウシナケレバナラスト思フ、森林產物ノ利用加工ナドハ簡單ナモノデアル、大概ノ者ハ出來ルノデス、唯精製加工ニ至ツテハ一寸面倒カモ知レマセヌガ、製板スルカ「ベニヤ」ニスルトカ云フコトハドシナ者デモ出來ル、其處マデ一方カラ見レバ發達シナケレバナラスガ、他方面ヲ考ヘル時ニ、中間ニ於テ木材ノ小配給機關ト云フモノガ事業ヲ失フ、此ノ摩擦相剋ヲ政府ハドウ防グカト云フ問題デアリマス

○松村政府委員 此ノ第七十條ノ規定ハアリマスケレドモ、ソレハ今松浦君ノ御考ヘニナツテ居ルヤウナ重大ナ意味ヲ此ノ條項ニ吾々ハ盛ツテ居ルノデハナイノデアリマス、是ハ組合トシテハ唯此ノ位ノコトヲシ得ルコトハ必要デアリマスケレドモ、是ガ産業組合ノヤウニ、之ニ依ツテ生産者カラ消費者ヘノ建前トシテ中間ノ配給機關ヲ除イテヤラウト云フヤウナ意味ノ條項デハ決シテ

アリマセヌ、從來モヤハリ之ニ類スル規定ハアツタト思ヒマス、サウ云フ意味デハ決シテアリマセヌデ、是ハ組合トシテ唯是レダケノコト位ハヤラナクテハイケマセヌカラ、ソレデ此ノ規定ヲ設ケタノデアリマス、之ヲ組織的ニ産業組合ノヤウニスルヤウナ考ハ毛頭持ツテ居リマセヌ

○松浦委員 農林次官殿ノ御話ハ至極柔カイ御答辯デアリマスガ、是ハ深刻ニ考ヘレバ出來ルノデス、サウシテ其ノ資金モ無いシ、技術モナイト言ハレマスガ、此ノ森林組合聯合會ト云フモノハ、少クトモ三千町歩以上ノ財産ヲ持ツテ居ル、之ニ對スル所ノ金融ハ如何様ニデモ出來ル、サウシテ富士ノ聯合會、利根ノ聯合會ト云フヤウナモノガ出來ルデセウ、水源ニ依ツテシヨウトスルナラバ、其處ニ集ツテ來ル所ノ產物ト云フモノハ、毎年統計ニ依ツテ施業案ト云フモノガチャント前年度ニ分ツテ居ル、サウナレバ其ノ聯合會ガ更ニ協力シテ工場ヲ拵ヘテ、サウシテ甲ノ工場ニ必要ナ原料ハコチラカラ送ツテヤル、又乙ノ方デ必要ナモノハ甲ノ組合カラ送ツテヤル、サウ云フヤウニ交換シテヤレバ、材木屋ヨリモ寧ロ組織的ナモノガ私ハ出來ルト思フ、是ハ法律ハサウ出來テ居ルノデス、「イデオロギー」ハ其處ニア

ル、又其處マデ行クベキデセウ、サウ行ツタトスルナラバ、此ノ小配給機關ト云フモノハ上ツタリニナルガ、之ニ對シテ何カ考ヘテ居ラレルト私ハ思フガ、政府ノ所信ヲ尋ネマス

○松村政府委員 私ガ何カ表面ダケ柔カカナ答辯ヲ致シテ居ルヤウナ御言葉デゴザイマスガ、決シテサウ云フ意味デハアリマセヌ、木材業ト云フモノハ御話ノヤウニサウ簡單ナモノデハアリマセヌデ、私共ハ此ノ組合デソレマデヤルト云フコトハ相當ニ危險モ伴フコトデアリマスカラ、サウ云フ程度マデ考ヘテ居ル譯デハアリマセヌ、尙ホ私ガ斯ウ云フ御答辯ヲ申上ゲマシテモ、事務ノ方デ強イ考デモ持ツテ居ルヤウニ御考デアルカモ知レマセヌカラ、村上局長カラ改メテ御答辯ヲ申上ゲマス

○村上政府委員 只今政務次官カラ答辯申上ゲマシタヤウニ、全ク七十條ノ第二項ノ一ト云フモノハ、現在デモ森林組合ハ斯ウ云フ機能ヲ持ツテ居ル、之ヲ今度ハ出資スル組合ニ限リ斯ウ云フコトヲヤラスト云フ消極的ノ意味シカナイノデアリマス、現在ニ於テモ貯木場ヲ經營シテ居リマス、サウシテヤハリ貯木場デハ物ヲ賣ツテ居リマス、賣ツテ居ル先ハ地元ノ商人ニ賣ツテ居ル譯

デアリマシテ、ソレガ更ニ進ンデ都會地ニ進出シテ材木屋ヲヤルト云フヤウナコトハ、山ノ人ニハ甚ダ適シナイコトデ、サウ云フコトハ危險デアルト思フ、隨テサウ云フ定款ハ私共トシテハ認可致サナイ積リデアリマス、貯木場、土場等ヲ經營スレバ、ソコ販賣スルト云フコトマデハ、ソレハ認メナケレバナラス、ソコマデノモノデアリマス

○松浦委員 サウ云フ定款ヲ認可シナイト云フ確言ヲ得マシタノデ、此ノ點ハ此ノ程度ニ止メタイト思ヒマスガ、十三條ノ二、是ハ物動計畫ノ上ニ於テ必要デアルコトデアリマセウガ、必要ニ應ジテ事業者ノ帳簿ヲ檢閱スルト云フコトデアリマスガ、斯ナルト、一體商賣人ト云フモノハ帳簿ヲ檢査サレルコトガ本當ニ嫌ヒナンドス、其ノ場合ニ始終帳簿ヲ檢査サレルナラバ、帳簿ヲ二冊作ルト云フヤウナコトニナルガ、サウデハナシニ、モウ少シ自發的ニ此ノ目的ヲ達スルヤウナ御考ハアリマセヌカ

○村上政府委員 此ノ間ノ松浦サンノ御説ニモアルヤウニ、需給ノ調査ヲ徹底のニヤルト云フコトハ此ノ際必要ダト思ヒマス、ソレガ爲ニハドウシテモ商賣人ノ方ニモ此ノ調査ニ協力ヲ願フ、隨テ普通ノ場合ニ於

キマシテハ報告ヲ徴シテソレニ依ツテ行ク譯デアリマス、唯場合ニ依リマシテ報告ダケデハドウモ正確ヲ缺クト云フヤウナ場合ニ、帳簿ノ檢査ガ出來ルト云フコトニ致シテ居リマス、是ハ從來色々ノ法律ニ、總テ報告義務ノ伴フ法律ニハ斯ウ云フコトニナツテ居リマス、其ノ從來ノ例ニ依リマシタノデアリマス

○松浦委員 サウダトスルナラバ、私ハ帳面マデ調べナクテモ報告ダケデモ宜イノデハナイカト思フノデスガ、今言ヒマシタヤウニ報告ダケデハ信用ガ出來ヌト云ツテモ、帳面ヲ見テモ、ヤハリ帳面ヲ二ツ作ラルレバ何ニモナラス、私ハ報告ダケデ宜イノデハナイカト思フ、餘リ民ヲ疑フノモ甚シイ事柄デハナカラウカト思フノデスガ、此ノ點ハドウデス

○村上政府委員 從來ノ例ガ皆斯ウナツテ居リマスノデ、ソレニ倣ツタダケデアリマス、特ニ之ヲ疑ツテ附加シタモノデハナイ、左様御承知ヲ願ヒマス

○松浦委員 之ニ對シテハ行政ニ當ツテ善處ヲ願ヒマス、森林ノ税ノ問題デアリマスガ、之ニハ又色々ナ議論ガアリマシテ、長時間ヲ要シマスカラ、要點ダケヲ聽イテ行キタイト思ヒマス、森林關係ノ税ノ中ニ、

所得稅、相續稅、財産稅、其ノ他特別稅段別割、地方稅段別割等ノモノガアリマスガ、私ハ特ニ惡稅トシテ撤廢ヲ望ミタイモノハ、所謂地方稅段別割、特別稅段別割デアルト思ヒマス、是ハ昭和六年ノ稅制改革ノ時分ニ撤廢スルコトニナツテ居ツタモノガマダ撤廢ニナラス、更ニ馬場財政ノ時分ニ、地方財政調整交付金ノ額ヲ殖ヤシテ斯ウ云フヤウナ惡稅ヲ整理スルコトニナツタガ、其ノ交付金ノ額ガ非常ニ減ツタ爲ニ是モ延バサレテ來タト云フコトデ、現在我國ノ町村ニ於テ、昭和五年度ニハ三百七十ノ町村ガ此ノ段別割ヲ取ツテ居リマス、ソレカラズツト減リマシテ、現在ハ二百七十ノ町村ガ段別割ヲ取ツテ居ルコトニナツテ居リマスガ、之ニ對シマシテ一ツノ例ヲ申シマス、段別割ト云フモノハ一圓マデハ賦課シテモ宜イ、田畑山林全部一圓マデハ賦課シテ宜イ、ソレ以上ハ制限外賦課ニナルト云フコトハ論ズル必要モアリマセヌガ、靜岡縣ノ或ル一ツノ例ヲ見マスト、田ガ一段歩十五錢、畑ガ一段歩十五錢、宅地ガ三十五錢、山林モ三十五錢、原野モ三十五錢ト云フヤウナ稅ヲ取ツテ居ル所ガアリマス、稅ト云フモノノ本質ハ其ノ純收益カラ取ルベキモノナンドス、山林ノ純收益ト畑ノ純收益トハ一體ドレダケノ

差ガアルカ、田トハ一層ノ差ガアリマスガ、サウ云フヤウナ惡稅ガアリ、更ニ甚シイ所ハ、木材ヲ伐ツテ出ス移出稅ヲ取ツテ居ル町村サヘアル、之ヲ地價ノ關係カラ見マスト云フト、今日ノ森林ノ地價ハ畑ヤ田ニ比ベマシテ、非常ニ賃賃價格ト云フモノハ低下シテ居ル、ソレニ對シテ非常ニ重イ稅ヲ課ケラレルト云フコトハ、木ヲ植エテ長イ間育ツノヲ待ツト云フモノニ對シテ非常ニ過重デハアリマスマイカ、此ノ議論ヲ申シマス、隨分色々議論ガアリマシテ、時間ガ掛リマスカラ申シマセヌガ、斯様な惡稅ニ對シテ、山林ヲ獎勵スル農林省トシテハ一體ドウ云フ風ニ稅制ノコトニ付テ御考ヲ持ツテ居ラレルカ、所得稅ノ問題ニ付キマシテモ、年々木ガ太ルカラ、太ル割合デ所得稅ヲ取ル、更ニ木ヲ切ツテ賣リ拂フ時ニモ税金ヲ取ル、所得稅ナラバ、公債ヲ持ツテ居ル場合ニ、公債ノ利札ノ中カラ所得稅ヲ拂ハナケレバナラス、ソレヲ假ニ木ノ太ル部分トスルナラバ、公債ヲ賣ツタ時ニ所得稅ヲ拂フベキデアル、其ノ方ハ何デモナイ、山ヲ持テバ太ルダケツツ所得稅ヲ取ラレテ行ツテ、サウシテ終ヒニ賣ツタ時ニ又税金ヲ取ラレル、又反別割ヲ取ラレル、移出稅ヲ取ラレル、或ハ伐採稅ヲ取ラレルト云フ

ヤウナコトデ、山持ト云フモノハ、一ツノ
税ノ對象物ニナツテ、何デモ彼デモ目ニ著
キ易イモノデアリカラ、懷ニ金ヲ入レテ居
ル者ト違ツテ、大キク見エテ居ルモノデアリ
マスカラ、結局何デモ取ラレテ立行カスト
云フコトニナル、私ノ今ノ議論ハ雜駁ナモ
ノデアリマスガ、徹底的ナ議論モ持ツテ居
リマス、若シ後デ速記ニ書ク必要ガアレバ
御渡シタイト思ヒマス、之ニ對シテ、一ツ
今日ノ山林ノ税制ノ改革ニ付テ次官殿ノハ
ツキリシタ御意見ヲ伺ツテ置キタイト思ヒ
マス

○松村政府委員 御話ノ通りデアリマシテ、
私共ハ森林ニ關スル租税公課ノ重イコト
ハ、一ツノ森林事業ノ發達ヲ阻碍スルモノ
トマデ申シマセヌデモ、相當ノ重荷ニナツ
テ居ルコトハ事實デアルト思ヒマス、之ニ
付テ意見ヲ申セト云フコトデアリマスガ、
何トカ之ヲシナケレバナラスケレドモ、私ノ
省タケデ出來ルコトデアリマセヌノデ、
大藏省ノ關係モアリマスルシ、十五年度ニ
ハ税制ノ有ニル方面ニ於ケル改革ヲスルト
云フコトデアリマスカラ、其ノ際ニハ是非
私ノ省ト致シマシテ、之ニ關スル意見ヲ申
出テ、其ノ輕減ヲ圖リタイモノト考ヘテ居
リマス、尙ホ詳シイコトハ局長カラ申上ダ

マス

○村上政府委員 今反別割ノ問題ガゴザイ
マシタガ、成程反段割ハ地價ニ比例シナイ
デ、山林モ原野モ田畑モ同ジ、或ハ山林ノ
方ガ重イト云フヤウナ課税ノ方法ヲ取ツテ
居ルヤウナ處モアリマシテ、是ハ私共モ甚
ダ遺憾トスル次第デアリマス、之ニ付キマ
シテハ、昭和六年ニ内務省地方局長、大藏
省主税局長カラ特別ノ事情ナキ限り、反別
割ハ之ヲ漸次廢止スルヤウニト云フヤウナ
通牒ガ出テ居リマス、其ノ結果デモアリマ
セウカ、次第ニ減ツテ參ツテ居リマスガ、
山村モ疲弊甚シク、財政上ニ於テモ、困難
ナル點ガアリマス爲ニ、尙ホ全部ニ於テ撤
廢サレナイト云フコトハ甚ダ遺憾デアリマス
カラ、將來是等ノ點ニ付テハ、更ニ其ノ通
牒ノ徹底方ニ付テ努力致シタイト思ツテ居
リマス、所得税ノ御話モアリマシタガ是ハ
從來カラモ色々アリマスノデ、昔カラ見レ
バ今ノ森林所得税ノ課税方法モ相當改善ハ
サレテ居リマスガ、尙ホ更ニ是ガ改善ニ付
テ研究シテ見タイト思ヒマス、ソレカラ立
木伐採税ノ御話モアリマシタガ、是ハ處ニ
依リマスト立木ヲ伐採シテ運ビマスニハ、
ドウシテモ村道等ヲ使フ必要ガアル、木ハ
相當重イモノデアリマスカラソレガ爲ニ

道路ヲ破壞スル、斯ウ云フヤウナ意味ニ於
テ立木伐採税等ヲ取ツテ居ルノデアリマシ
テ、是等ハ或ル場合ニ於テハ容認シナケレ
バナラスモノダラウト思ヒマス、尤モ其ノ
率、或ハ其ノ收益ニ課スルト云フコトニナリ
マス、是ハ相當考ヘナケレバナラスト思
ヒマス、其ノ他地方税等ニ付テモ只今次官
ノ答辯ノヤウニ、更ニ税制整理等ノ場合ニ
考慮致シタイト考ヘテ居リマス

○松浦委員 税ノ問題ニ付キマシテハ相續
税其ノ他色々申上ダゲタイコトガアリマスガ
只今次官殿ノ仰セニナリマスヤウニ、大藏當
局トノ關係モアルコトデアリマスカラ、此處
デ議論スルコトハドウカト思ヒマスガ、森
林所有者ハ斯カル意見ヲ持ツテ居ルト云フ
コトニ付テ十分御認識ヲ願ヒマシテ、大藏
當局トノ間ニ十分折衝シテ、明朗化シタ森
林行政ノ出來ルヤウニシテ戴キタイ
ソレカラ造林補助ノ問題デアリマスガ、ヤ
ハリ現在ノ改正案ヲ實行シテ行クニハ、只今
マデノヤウナ僅カニ二階カラ目藥ノヤウナ造
林補助デハ到底強行サレルモノデナイ、今日
百三十二萬八千圓バカリノ造林補助費ヲ出
シテ居ラレルヤウデアリマスガ、是カラ言
ツテ見マス、年ニ一萬町歩位シカ殖エテ
行カレナイ、穴ノアイテ居ル部分ガ四十萬

町歩、百三十二萬圓位ツツ出シテ行ツタト
スレバ四十年掛ラナケレバ今日ノ穴ヲ埋
メテ行ケナイ、段々順繰リニ殖エテ行カナケ
レバナラス、中ニハ補助金ヲ貰ハナイデヤ
ツテ行ク人モアリマセウガ、補助金制度ガ
アル以上ハ誰デモ補助金ヲ貰ツテヤリタイ
ノハ當然デアアル、政府ハ今後此ノ補助金ニ
付テドウ云フ考ヲ持ツテ居ラレルカ御伺致
シタイト思ヒマス、私ハ政府ガ當然造林ト
云フモノニ對シテハ補助ヲシナケレバナラ
スト云フ基礎議論ヲ申上ダマス、先程モ價
格ノ公定相場ノ場合ニ申シタノデアリマス
ガ、今日マデノ木材價格ト云フモノハ、大
體ニ於テ世界標準ノ「レベル」ニ行ツテ居ル
ノデアリマス、所謂南洋材ガ入ツテ來ル、
木材ガ入ツテ來ルト云フヤウナコトデ、世
界ノ標準ニ置カレテ居ル、ソレヲ逆算シテ
行ツタモノガ森林業者ノ森林價值ト云フモ
ノデアリマス、サウナルト云フト、最近ニ
於テ日本ガ此ノ木材ノ入ツテ來ナイヤウ
ニ、鎖國經濟的ナ政策ヲ執ルコトニ依ツテ、
今日日本ノ木材價格ガ木材ノ需給關係カラ
騰ツテ來タ、ソレデ今日初メテ森林關係業
者ガ算盤ガ取レル範圍ニナツテ來タ、所ガ一
タビ此ノ障壁ヲ取ツテ世界「レベル」ノ上ニ
算盤ヲ彈クヤウニナレバ、再ビ引合ハナク

ナル、私ハ今日千二百万町歩ノ民有林ヲ持ツテ居ル日本ガ、木ヲ植エルコトヲ厭フヤウナ氣持ヲ起サセナイデ、常ニ此ノ資源ヲ培養シテ行クト云フニハ、ドウシテモ政府ノ補助ハ或ル程度マデ徹底シテヤラナケレバイカヌモノダト思フ、所謂此ノ世界「レベル」ノ標準ノ相場ト、森林ノ生産「コスト」ノ差ガアル、其ノ差ダケハ政府ガ負擔シテ行カナケレバ山ハ青クナラスト思フ、之ニ對シテ現在ノヤウナ少イ補助金デハ全然問題ニナラヌガ、將來此ノ法律ヲ實行シテ行クト共ニ、ドウ云フ程度ノ助成金ヲ政府ハ考ヘルカ、補助金ヲ出スノニ、ドウ云フ「プラン」デ之ヲヤツテ行カウト云フ御考デアルカ、之ヲ御聽キシタイト思ヒマス

○松村政府委員 御話ノ通りデアリマスノデ、御承知ノ通り是マデ無立木地、近頃ハ伐採シタ跡マデニ對シテモ助成ヲ致シテ居リマス、ソレガ少イコトモ只今ノ所デハ事實デアリマシテ、是ハ殊ニ此ノ改正案ガ施行セラレル時ニ當リマシテハ、相當ニ明年度カラ増加セネバナライ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、併シナガラ是ハ只今ノ御話ノ中ニモアリマシタガ、非常ナ不況ノ時ト、斯ウ云フ風ニ木材ノ價格ガ上ツテ、造林ト云フモノガ多少ツ採算ガ取レルヤウ

ニナツテ來マシタ時トハ、植林ニ對スル所有者ノ考ヘ方モ非常ニ違ツテ參リマシタノデ、或ル場合ニハ割合ニ助所セヌデモ相當ナ植栽ガ行ハレ、或ル場合ニハ相當ナ助成ヲシテモ中々植エナイト云フヤウナコトガアリマスカラ、ソレ等ノ趨勢ト見合ツテ、サウシテ有效ナ助成ヲ致シタイト考ヘテ居リマス

○松浦委員 來年度カラ相當増スト云フコトデアリマスガ、ドウ云フ範圍ノ計畫ヲ持ツテ居ラレマスカ

○松村政府委員 ソレハ來年カラ増スト云フコトハ申シ兼ねル譯デアリマスガ、増シタイト考ヘテ居ルノデアリマス、ソレニ付キマシテ山林當局ノ意向ハ村上君カラ申上デマス

○村上政府委員 明年度ニ於テハ只今豫算トシテ六十五萬圓増額ヲ願ツテ居リマス、ソレダケハ明年度カラ増シマス

只今松浦サンノ仰シヤルノハ、更ニ其ノ次ノ年度ノコトヲ仰セラレタノダト思ヒマス、ソレニ付キマシテハ私共ト致シマシテハ相當此ノ實現ニハ努力ハ致シタイト考ヘテ居リマス、ソコデ目標ト致シマシテハ、現在民有林其ノ他造林促進費ニ依リマシテ實行シ得ラレナイ計畫外ノモノガ六十五萬町歩残ツテ

居リマス、此ノ中相當ノ部分ハ此ノ度六十五萬圓殖ヤシマシタノデ、實行ガ出來マスケレドモ、ソレデハ尙ホ十分デハアリマセヌノデ、更ニ計畫ト致シマシテハ、六十五萬町歩全部ニ對シテ造林ヲ徹底スルヤウナ計畫ヲ以チマシテ、之ノ實現ニ努力シタイ、其ノ一部ガ此ノ度六十五萬圓増額トシテ現レテ居リマス、是ハ財政其ノ他色々ナ關係ガアリマスノデ、出來得ル限り近クソレガ實現ヲ期シタイト、斯ウ考ヘテ居リマス

○松浦委員 只今六十五萬町歩アツテ、ソレニ對スル計畫ノ一部ガ今年出テ居ルト云フコトデアリマスガ、然ラバ此ノ六十五萬町歩ヲ全部政府ガ計畫通りニ行ツタ場合ニ、何年ノ間ニ、年ニドレダケツツノ經費ヲ要スルカ、サウシテ政府ノ助成ハ何割スルト云フ、其ノ「プラン」ノ内容ヲ御聽キシタイト思ヒマス

○村上政府委員 造林費ハ是ハ物價ノ問題ニ關係致シマスノデ、茲ニ一年一町歩何圓ト申上ゲル譯ニハ行キマセヌ、隨テ其ノ金額ハ一寸難カシイト思ヒマス、併シナガラ六十五萬町歩ヲ出來ルダケ早く造林スルト云フコトハ必要デアリマス、是ハ少クトモ十五年位ノ間ニハ全部造林計畫ハ終ルヤウニシナケレバナラスト思ヒマス、而シテ其

ノ補助率ハ現行ガ四分ノ一デアリマス、ソレデ之ヲ上ゲルカドウカト云フコトハ、是ハ色々ノ問題モアリマスノデ、此處ニ尙ホ言明ヲ致シ兼ねマスガ、之ニハ府縣ノ助成モ付キマスノデ、實際ハ三分ノ一ノ補助デアリマス、ソレデ現在マデモ相當伸ビテ參リマスノデ、今後モ一般ノ場合ハ其ノ率デ宜シイノデハナイカ、但シ特殊ノ造林ニ對シテハ率ヲ上ゲル必要ガアル、又特別ナ地域、特ニ早く造林ヲ治水上其ノ他ノ關係カラシナケレバナラスト云ツタ所ニハ又率ヲ上ゲル必要ガアリ、是ハ個々ノ問題デアリマスカラ、今後研究シテ參リタイト思ヒマス

○松浦委員 大體全貌ハ分ツテ參リマシタガ、一反歩アタリノ造林費ト云フモノハサウ單純ニ決メラレルベキモノデハナク、一定ノモノデハナク、地形ヤ樹種ニ依ツテ色違ヒマスガ、先ヅ針葉樹トシテ現在ノ狀況ヲ調べ見マスト、昨年マデハ百十圓乃至百二十圓致シテ居ル、ソレヲ今日二割ノ騰貴ト見マシテモ、百三十五圓位デ一反歩ガ出來マス、六十五萬町歩、百三十五圓ト見テ、十五箇年間ニ政府ガ三分ノ一ヲ補助スルト見テ差支ナイノデアリマスカ

○村上政府委員 ドウモ金額並ニ率ニ付テハ御約束ハ出來マセヌ

○松浦委員 率ノ三分ノ一ハ間違アリマセ
スカ

○村上政府委員 イヤ、ソレハ四分ノ一ト
申上ゲマシタ

○松浦委員 大體三分ノ一ニナルナルダラ
ウト云フ御話デシタガ……

○村上政府委員 ソレハ府縣ノ助成ガ入リ
マスカラデ、現在ハ四分ノ一デアリマス

○松浦委員 國庫ハ三分ノ一、サウシテ十
五箇年間ニヤツテシマフト云フデアリマ
スカ

○村上政府委員 是ハ財務當局ト折衝シナ
ケレバナリマセヌ、十五箇年ト云フノハ最
高ノ年限デ、モット早く、十年デ出來レバ、
シタ方ガ宜シイデアリマス、併シ其ノ邊
ハ目安デアリマシテ、十五箇年ニ或ハ二十
箇年ニナリマスカ、或ハモウ少シ延ビマス
カ、ソレハ折衝ノ問題ニナリマスノデ、今
何年トハツキリ申上ゲル譯ニハ行キマセヌ
○松浦委員 率ノ問題ハ、結局補助政策ガ
中心ニナリマスカ、少クトモ政府ガ三分ノ
一位助成ノ必要ガアル、今度ノ技術員ノ問
題ニ付キマシテ、何時カ御説明ノ時ニ、技
術員ノ給料ニ對シテハ三分ノ一或ハ施業案
ノ助成ニ付テハ三分ノ二ト云フヤウナ御説
明ガアリマシタガ、是等カラ見マシテモ、

當然三分ノ一ヲ見ナクテハナラスト思フ、
先程金融ノ所デ申上ゲマシタガ、國家資源
培養ノ爲ニ重大ナモノデアリ、一面國土保
安ニ對シテ重大デアリ、長年經タナケレバ
回收ガ付カヌモノデアリマスカラ、ドウシ
テモ三分ノ一位國庫補助ヲ見ル必要ガアル
ト思フ、之ニ對シテ政府ノ善處ヲ私ハ望シ
デ置ク次第デアリマス

私ハ長クナリマスカラ、午前中デ全部切
上ゲタイト思ヒマス、昨日樺太廳ニ聽イテ
置キマシタ問題ノ續キヲ質問致シマス、昨
日モ申上ゲマシタ特別會計ノ問題デアリマ
ス、昨日ハ樺太廳ノ還元率ノ所マデ參リマ
シタ、樺太長官ノ御述ニナリマシタ還元率ハ
最近ハ二六%還シテ居ルト申サレマシタガ、
各省所有ノ國有林ヲ比較致シマスト、言フ
マデモナク、一番率ガ低下シテ、サウシテ今
日ノ長官ノ失態デナイコトハ言フマデモナ
イ、前ノ大ナル失態デゴザイマスカ、ア、云
フ狀況ニアル所ハ一日モ其ノ儘ニシテ置ク
コトハ出來スト思フ、ダカラ結局歸スル所
アノ荒廢林ヲ元ニ還スト云フコトガ必要ナ
ンデスカ、ソレニ付テ昨日色々御辯明ガア
リマシタ、併シ還スト云フコトハ努力モ必
要デスカ、努力ト共ニ金額ガ伴ハナクテハ
イケナイ、所謂還元率ヲ向上シナケレバナ

ラスト云フコトニ結論付ケラレルノデアリ
マス、之ニ對シテ樺太長官ハ朝夕豐原ニ居
ツテ、アノ茫漠タル山野ヲ眺メテ居ツテ、
定メシ感慨無量ノモノガゴザイマセウ、ア
レヲ本當ノ綠ノ山野ニ還スト云フ信念竝ニ
ドウ云フ風ニ豫算ヲ要求シテ行カ、又植
林植栽、荒廢林復興ニ對スル「プラン」ノ内
容、サウ云フモノヲ御示シ願ヘレバ吾々國
民モ安心スルコトガ出來ルト思ヒマスガ、
之ニ對スル御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○樺居政府委員 昨日モ御尋ニナリマシ
テ、簡單ニ數字ヲ上ゲマシテ、過去及ビ現
在ノ狀況ヲ御答辯申上ゲテ置イタノデアリ
マスガ、重ネテ更ニ積極的ニ森林ノ撫育造
成ニ付テ或ル種ノ意見ヲ持ツテ居ナイカト
云フ御尋ガアリ、又還元率ノ低イト云フコ
トニ付キマシテ重ネテ御叱言ヲ戴イタノデ
アリマス、樺太ニ於キマシテハ森林ガ最大
ノ資源デアリマシテ、島民ノ生活一般ニ重
大ノ關係ヲ持ツテ居リマスコトハ申上ゲル
必要モナイコトデアリマスカ、林力ノ保續
ト云フコトニ付キマシテハ、從來ト雖モ廳
當局ハ全力ヲ擧ゲテ努力致シテ來タノデア
リマス、併シ御承知ノ通り非常ニ不幸ナ事
件ガ屢、起リマシテ、林野ヲ荒廢ニ歸セシメ
テ、只今御述ベニナリマシタヤウナ荒涼タ

ル景觀ヲ呈シテ居ルノデアリマス、併シ最
近ニ於キマシテハ造林事業モ極メテ順調ニ
進ンデ參ツテ居リマシテ、昨日モ申上ゲタ
ヤウニ大體年二万六千町歩ノ造林ヲ十ヶ年
計畫ヲ以チマシテ、昭和十二年カラ續ケテ
參ツテ居リマス、尙ホ十四年度ニ於キマシ
テハ苗圃ノ擴充ニ要スル經費モ計上シテア
リマスシ、更ニ民間ニ苗圃ノ經營ヲサセテ
見タイト云フ氣持モアリマスノデ、今、頻
リニ研究サセテ居リマス、隨ヒマシテ十二
年ヨリ十年後ニハ森林ノ造成ヲスル七十六
万町歩ノ林野ハ先ヅ造林ガ行届クト云フ風
ニ吾々ハ期待ヲシテ、其ノ計畫ヲ著々進メ
テ居ル譯デアリマス、是ト共ニ山火ノ豫防
等ニ付キマシテモ、更ニ本年度豫算ヲ増額
致シテ居ルノデアリマシテ、消極、積極兩
方面カラ致シマシテ、一方ハ林野ノ荒廢ヲ
防ギ、一方ハ進ンデ森林ノ造成ヲ圖ルト云
フ所謂軌道ニ乘リマシタ方針ノ下ニ現在實
行ガ進ンデ居ル譯デアリマス、是レ以上更
ニ苗圃ノ擴充等ニ付キマシテモ意ヲ用ヒ、
或ハ私ト致シマシテハ之ヲ民間ニ一部手傳
ハシテ見タイト云フコトモ一ツノ目論見ト
シテ考ヘテ居リマス、或ハ王子會社等ノ如
キ最モ大量ニ木材ヲ消化致シマスルモノ、又
最近ニ於キマシテハ樺太デハ石炭業ガ非常

ニ進展シテ参リマシテ、是ガ爲ニ將來三百萬石ノ鑛業用材ヲ要スルモノト想定致サレテ居リマスガ、是等ノ鑛山、會社等ニ對シテモ德憑致シマシテ造林ヲヤラセタイ、又市町村等ノ公有林ニ付キマシテモ進ンデ造林ヲセシメタイト考ヘテ居リマシテ、既ニ積極的ナ計畫ノ第一段階ニ現在ハ立ツテ居ルト考ヘテ居リマス、ドウカ其ノ點ニ於キマシテハ一層御激勵ヲ願ヒマスト共ニ、御安心ヲ願ヒタイト存ジテ居リマス

○松浦委員 七十六万町歩ヲ年二万六千町歩ヅツ植エルト十年計畫デハ數字上ハ出來ヌヤウニ思フ、併シ積極的、消極的兩方面カラ追付ケルヤウナ御計畫ガアルト云フコトデアリマスガ、私ノ結論ヲ申セバヤハリ是ハ還元率ヲ多クスルコトガ何ヨリノ問題ダト思ヒマス、之ニ對シマシテ北海道ノ當局者ニモ御聽キ致シタイ、即チ内務拓務兩省ノ代表者ニ御聽シタイト思ヒマス、昨日ハ還元率ノ問題ニ付キマシテ農林大臣トノ間ニ大分特別會計ノ問題デ議論ヲ致シマシタガ、大體農林大臣ノ御意見、此ノ特別會計ヲ設定スルコトニ付テノ御信念ヲ私ハ伺ツテ安心ヲシテ居ル譯デス、併シ是ハ農林省ノ國有林ニ對スル問題デアリマスノデ、更ニ内務省ノ國有林、拓務省ノ國有林其

ノ中デモ最モ還元率ノ低イ拓務省ノ國有林ニ於テハドウシテモ特別會計ヲ作ツテ、此ノ還元率ヲズツト殖ヤシテ行ク、サウシテ樺太ノ森林ヲ喰物ニシナイ、今マデ森林ニ依ツテ樺太ヲ開イタノダカラ、今後ハ殘ツテ居ル樺太ノ森林ヲ大事ニシテ森林資源ヲ元ニ戻シテ行クト云フ所ノ「イデオロギー」ヲ持ツテヤツタラドウカト云フコトニ付テ、内務省ノ國有林ニ對スル特別會計、拓務省ノ國有林ニ對スル特別會計ニ付テノ御意見ヲ兩代表カラ御伺シタイト思ヒマス

○半井政府委員 森林經營ニ付テノ特別會計ノ御質問デアリマスガ、森林經營ヲ主體トシマシテ考ヘマスル場合ニ、固ヨリ特別會計ニ依リマスルコトガ、御話ノ收益ヲ還元スルヤウナ意味合カラシマシテ、洵ニ結構ナコトデアルト思フノデアリマスガ、唯北海道ノ情勢ニ付キマシテハ御承知ノ如ク北海道拓殖計畫ト云フ建前ヲ以テ從來行ツテ居ルノデアリマシテ、其ノ關係カラ一般内地ノ問題トハ稍、趣ヲ異ニ致シテ居ルノデアリマス、北海道ノ拓殖計畫ハ申スマデモナク北海道カラ國庫ニ納メマスル收入ト、國庫カラ北海道ニ支出シマスル額トノ差額ガ大體拓殖計畫ノ其ノ年度ノ目途ニナツテ居リマス關係ガアリマスルノデ、成程森林

經營ノ立場カラ特別會計ト云フコトハ望マシイコトデアリマスルケレドモ、現在ノ拓殖計畫ノ建前ヲ其ノ儘維持シテ居リマス場合ニ於テハ、直ニ特別會計ト云フコトヲ考ヘ得ナイノデゴザイマシテ、其ノ點ハ拓殖計畫其ノモノノ根本ノ建方ト睨合セテ、將來考究シテ行カネバナラスコトデアルト考ヘテ居リマス、左様御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○樺居政府委員 樺太ノ森林收入ハ御承知ノ通りニ樺太ノ財源ノ大部分ヲ占メテ居リマスルノデ實ハ五割強、六割近イ割合ヲ占メテ居ルト云フヤウナ重要性ヲ持ツテ居リマス、樺太ハ領有以來最近ニ至リマスルマデ森林收入ニ依存シテ拓殖計畫ヲ進メテ參ツタノデアリマシテ、ソコノ所ハ非常ニ苦シイ所デアリマスガ、森林ノ方ニ付テ極力其ノ歲入ヲ還元致シマスト共ニ、又樺太ノ拓殖上必要ナ事務ニ對シマシテハ、之ヲ充當シナクテハナラヌト云フヤウナ甚ダ苦境ニ立ツテ居リマス、隨ヒマシテ樺太ノ特別會計中ニ更ニ森林ニ關スル特別會計ヲ設定スルト云フコトニ付キマシテハ、到底困難ナ事情ガアルコトハ御想像願ヘルコトト思ツテ居ルノデアリマスルガ、努メテ森林資源ノ培養確保ニ付テ、其ノ森林收入ヲ出

來ル限り多クノ割合ヲ還元スルト云フコトニ付キマシテハ、先程申上ガマシタヤウニ將來ト雖モ努力致シタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○松浦委員 先程樺太長官カラ造林ノ計畫ニ付テ伺ヒマシタガ、北海道長官ニモ此ノ件ニ付テ二三御伺シテ見タイガ、先ヅ前提ニ御伺シタイコトハ、統計ノ上カラ見レバ、相當ノ民有林ニ對シテ無立木地ガ澤山アルヤウニ出テ居リマスガ、特ニ明治四十二年ノ大火ノ跡地ダトカ、其ノ他荒廢林ニ、最近ニ於ケル天然更新ニ依ル後繼樹ガ相當アツテ、無立木地ト統計ニ載セルコトガ無理デアルカノヤウナ情勢ガナイデモナイト見受ケラレマスガ、是等ノ數字ハ一體何處ヲ押ヘタラ本當ノ數字デアルカト云フコトヲ先ヅ前提ニ御伺シタイト思フノデス、更ニ又此ノ森林法ガ北海道ニモ施行セラレルト云フコトニナリマシテ、私共モ之ヲ歡迎致シテ居リマスガ、此ノ森林法ガ施行セラレルト云フケレドモ、今日北海道ノ拓殖計畫ノ豫算ノ中ニ、此ノ森林法施行ニ伴フ所經費ノ計上ガ無い、勿論是ハ査定當時ニ此ノ問題ノ法律案ガ出ルカドウカト云フコトハ分ラナカツタカラ已ムヲ得ナカツタデアリマセウガ、今後此ノ議會中ニ此ノ森林法ニ關係

スル所ノ、之ヲ施行スルニ必要ナル組合施
業案ヲ實行スル等ニ對スル補助金其ノ他林
道ナド總テニ對スル所ノ經費ヲ議會ノ開會
中ニ追加豫算トシテ出ス御考ガアルカドウ
カ、アルトスルナラバ、其ノ「プラン」ヲ漏
サレルナラバ漏シテ戴キタイト思ヒマス

○半井政府委員 第一ノ無立木地ノ面積ノ
點デアリマスルガ、御話ニアリマシタヤウ
ニ、北海道ニ此ノ無立木ハ非常ニ廣汎ノヤ
ウニ傳ヘラレテ居ルノデアリマスルガ、實
際ニ於キマシテハ、往年山火ガ非常ニ多カ
ツタノデ、一時サウ云フ時代モアツタノデ
アリマスガ、其ノ後相當天然性ノ林木ガ旺
盛ニ成育致シテ居ルノデアリマシテ、今日
ニ於テ實際無立木地トシテ認メマスルモノ
ハ大體四十八萬一千町歩ト云フコトニ申上
ガテ宜イト思フノデゴザイマス、其ノ内譯
ハ國有林ガ十二萬町歩、地方ノ所有林ガ一
萬町歩、民有林ガ三十五萬一千町歩ト云フ
ヤウナ内譯ニナツテ居リマス

次ニ森林法ノ施行ニ伴ヒマスル豫算ノ點
デアリマスルガ、是ハ勿論北海道トシマシ
テ從來保安林ノ規定ノミガ適用セラレテ居
ツタノガ、今度ハ全般的ニ森林法ガ適用サ
レルノデアリマスルカラ、是ガ施行ニ必要
ナル豫算ヲ十四年度カラ必要ト致シマスル

コトハ勿論デアリマシテ、ソレニ付キマシテ
ハ大體農林省方面ノ從來ノ豫算等ヲ參考ニ
致シマシテ、只今大藏省當局ト折衝中デア
リマシテ、具體化シマシタ上ハ追加豫算ト
シテ提出致シタイト考フ有ツテ居ルノデアリ
マス、其ノ大體ノ計畫モ、從來農林省ニ於
テ是等ノ事業ニ要求サレテ居リマスル豫算
ヲ參考ニ致シテ居ルノデアリマスカラ、左
様御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○松浦委員 次ニ北海道長官ニ御伺ヒ致シ
タイトコトハ、北海道ノ木材工場ノ統制問題
デアリマスガ、北海道ノ木材工場ト云フモ
ノハ、開拓當時ニ民有林ノ澤山アツタ時代、
所謂立木ヲ伐ツテ燒イテ農耕地ヲ造ルト云
フヤウナ時代カラ、ソレ等ノ林木ヲ使ツテ
工場ガ澤山出來ルト云フ今日ニナツテ、殆
ド國有林其ノ他ノ官有林、公有林ガ此ノ供
給ヲ致シテ居リマスガ、木工場ノ持テル所
ノ能力ト森林ノ供給力、林力ト云フモノノ
「バランス」ガ破レテシマツテ居ル、其ノ結果
カラ現ハレルモノハ跛行的ナ相場デアリマ
ス、是ガ爲ニ倒産者ガ續出スルト云フヤウ
ナ狀況デアリマスガ、秋田縣ニ於テハ一度
秋田杉ノ問題ニ付キマシテ色々ト研究セラ
レタ時代ガゴザイマシタ、今日モ秋田杉ノ
聲價ヲ得テ居ルノハ、アノ劃期的ナ大事業ガ

完成シテカラアルトサヘ言ハレテ居リマ
ス、サウ云フ事例ニ倣ツテ、更ニソレヲ時
代ニ合フヤウニ考ヘテ、此ノ工場ヲ統制シ、
更ニ木材利用ト云フモノニ對スル工場ヲ發
達サセルコトニ對シテ、長官ノ御考ガアル
カドウカ御聽キシタイト思ヒマス

○半井政府委員 只今御質問ノ工場ノ設備
ト其ノ必要ナ資材タル木材供給トノ關係デ
アリマスルガ、是ハ御話ニアリマシタ如ク、
可ナリ工場ノ數ガ多く、而モソレガ道全體
ニ適當ニ配置サレテ居ナイト云フヤウナ關
係カラ、其ノ需給ニ非常ナル無理ガ生ズル
ノデアリマシテ、此ノ點ニ付キマシテハ、
北海道ニ於キマシテモ、從來ソレノ統制ニ
付キマシテ多少計畫モ致シタ點ガアルノデ
アリマス、當局ニ於キマシテハ、既ニ鉛筆
軸木ノ工場、經木、薄板工場、此ノ二ツニ
付キマシテハ、堅實ナ組合ヲ結成セシメマ
シテ、其ノ配給ニ付テ統制ヲ圖ツテ居ルヤウ
ナ譯デアリマス、御話ノ一般ノ製材工場、或
ハ「ベニヤ」工場等ニ付テモ、其ノ必要ヲ認メ、
又當局ニ於テ其ノ意圖ヲ有ツテ居ルノデア
リマスガ、是ハ非常ニ數モ多く、道内全般
ニアリマスルノデ、中々簡單ニハ參ラナイ
ノデアリマスガ、出來ルダケ之ヲ地方的ニ
デモ纏メマシテ、御話ノヤウナコトニ仕向

ケテ行キタイト云フ考ヲ以チマシテ、今後
トモ努力ヲ致シタイト考ヘテ居リマス

○松浦委員 現在ノ北海道、内地モ同様デ
アリマスガ、官有林ガ民間ニ原料ヲ供給シテ
居ル狀況ヲ見マスルト、大別スルト大體四ツニ
分ケラレマス、昨日モ其ノ事ハ簡單ニ申シマシ
タガ、「パルプ」工業ニ對シテハ、人織「パル
プ」、製紙「パルプ」ソレカラ坑木、一般木材
此四ツニ大別スルコトガ出來マス、所ガ政府ノ
之ニ對スル所ノ供給ノ狀況ハ、國策人絹「パル
プ」ニ對シテハ、全部其ノ必要ナル材料ヲ供給
スルト云フ約束ノ下ニ之ヲヤツテ居ラレル、
從來出來テ居ル王子製紙ニ對シテモ同様ノ
方法ニ依ツテヤツテ居ラレル、更ニ今度坑
木ノ關係ノ會社ガ出來マシテ、ソレニ對シ
テモ相當ナ考慮ヲ拂ツテ居ラレル、併シ一
般材木業者ダケガ殆ド其ノ資材ト云フモノ
ハ公賣デナクテハ買フコトガ出來ナイト云
フヤウナコトデ、彌ガ上ニモ此ノ公賣制度
ノ上ニ於テ、生キンガ爲ニハ原料ヲ得ナケ
レバナラヌト云フコトカラ、隨分無理ナ競
爭ヲヤツテ居ル現狀ガアリマシテ、現在ノ
北洋材ノ値段ハ内地市場カラ値段ガ出來ル
ノデハナクシテ、北海道ノ山元デ値段ガ決
ツテ、ソレカラ順ニ市場價ヲ吊上げテ行ク
ト云フヤウナ傾向ニアルコトハ最早論ズル

要ガゴザイマセス、此ノ結果トシテ現ハレテ居ルモノハ、今日ノ「バルプ」工業ノ上カラ見マシテモ、此處ニ色々ナ統計ヲ持ツテ居リマスガ、随分妙ナ結果ニナツテ居リマス、輸入スル所ノ「バルプ」ト、北海道デ原料ヲ得テ拵ヘタ「バルプ」トハ、輸入シタ原料ニ依ツテ拵ヘタ「バルプ」ノ方ガズツト安ク出來ル、今日此ノ北越「バルプ」ヤ、日曹ガ富山縣デ仕入レテ來テ居ル所ノ加奈陀ノ材料ハ八百九十圓、北海道ノ現狀ハドウカト云フト、山元デ千二百圓カラ千五百圓之ヲ以テアノ國策「バルプ」ヲヤラシテモ、加奈陀カラ仕入レタ所ノアノ値段トハ連モ一致シナイモノガ出マス、サウ云フ結果ハ、何處デ其ノ値段ヲ吊上ゲタカト云フト、結局此ノ公賣制度デアリ、先程モ申シマシタヤウニ需要量ト供給量トノ「バランス」ガ全然破レテシマツテ居ル、詰リ一面ニ於テハ工場ヲ統制スルト同時ニ、配給ニ對シテモ從來ノヤウナ無理ナヤリ方ヲヤラナイデ、組合——共同的ナ特賣デアルトカ或ハ縁故特賣デアルトカ云フモノヲ殖ヤシテ行クコトガ、此ノ市價ヲ吊上ゲ、倒産者ヲ出サナイコトニナルト思フガ、之ニ對シテ、大體此ノ四ツノ事業ニ對スル付分ケ、或ハソレニ對スル賣拂ノ方法ヲ改善サレル御意思

ガアルカドウカト云フコトニ付テ御伺シタイト思フ

○半井政府委員 只今ノ御質問ハ北海道ニ關シテデアラウト承知致シマスノデ、私カラ申上ゲマス、木材ノ用途ニ付キマシテ、其ノ仕分ケノ問題デアリマスガ、是ハソレゾレ、「バルプ」デアリマスルツカ、其ノ他只今御述ニナリマシタ四ツノ種類ニ從ツテソレ／＼其ノ資材ノ性質ヲ異ニ致シテ居ルノデアリマシテ、適當ナ資材ヲ適當ナル用途ニ向ケルト云フコトガ、最モ其ノ原料ヲ安ク仕入レルコトニモナリ、又國家ノ資源ヲ最モ有效ニ使フコトニナリマスノデ、サウ云フ風ニ致シタイト考ヘテ居ルノデアリマスルガ、唯從來カラ既ニ北海道ニ一ツノ工場ヲ持ツテ、ソレ／＼關係業者ト從來ノ取引ヲ致シテ居リマスルノデ、今遽カニ全部ニ付テ之ヲ改メルト云フコトハ困難デアルト思フノデアリマスルガ、出來ル限リサウ云フ方向ニ進メテ行キタイト考ヘテ居リマス、隨テ北海道ニ於ケル國有林ニ付キマシテハ、主トシテ官行斫伐ヲ行ヒマシテ、サウシテ立木デ賣ラナイデ、之ヲ切ツタ後ニ、或ハ大キナモノデアルトカ、長イモノデアルトカ云フヤウナモノハ、出來ルダケ是ハ建築用材ニ向ケルトカ、或ハ枝材デアルト

カ、小徑木等ハ「バルプ」材ニ向ケルトカ云フヤウナ取扱方ヲ致シテ居ルノデアリマシテ、今後更ニ他ノ方面ニ付キマシテモ斯ウ云フ方向ニ進メテ行キタイト考ヘテ居リマス、尙ホ木材業者ニ對スル木材ノ賣方ニ付テノ御意見ガゴザイマシタガ、成程特賣ニ致シマスルコトハ、價格ノ競上ガ防ギマシテ、價格ヲ騰貴セシメナイデ維持スル效果ハ是ハ十分アルト考ヘラレルノデアリマス、隨テ或ル特殊ナ事業ニ付キマシテ統制アル組合等ノ出來マシタ場合ニ、サウ云フ取扱ヲ致スト云フコトハ、是ハ考ヘ得ル問題デアルト思フノデアリマスルガ、併シナガラ何ト申シマシテモ特賣ト云フコトハ一ツノ例外的ノ取扱デアリマスルノデ、公賣制度ヲ殆ド根本的ニ廢止スルト云フコトハ、中難シイコトデアルト思フノデアリマス、又ソレニ伴ツテ一面ノ弊害モアルコトデアラウト思ヒマスルノデ、ソレ等ハ其ノ實情ニ應ジマシテ、今後御意見ノヤウニ適當ニ取扱ツテ行キタイト云フ風ニ考ヘテ居リマス

○松浦委員 此ノ問題ニ付テ農林省ノ山林局長ニ御聽キシタイ、此ノ間大阪ヘ參リマスト、土佐ノ國有林ノ公賣ノ發表ヲ致シテ居リマシタ、是ハ豫定單價ノ倍額ニ賣レテ

居リマス、其ノ他アソコノ組合ヘ參リマシテ色々調ベテ見ルト、ヤハリ北海道ニ於ケルヤウナ狀況ガ内地ニモ現出致シテ居リマス、是ハ只今北海道長官ガ御答ニナリマシタヤウニ、結局大藏省ノ會計法規ニ拘束サレテ出來ナイト云フコトニナルカモ知レマセヌガ、是ハ一ツ何トカ善處シナケレバ國家ノ政策ト合致シナイノデハナイデセウカ、所謂國家ノ政策ハ低物價政策ヲ採ツテ居ルノデ、官廳ノ賣ルモノダケヲ段々競上ゲテ、サウシテ高イモノニ賣ルト云フ方針ハ、國家ノ收入ヲ増上カラ見レバ宜イガ、木材業者モ損ヲシテハ賣ラナイ、組局大業ガ高イモノヲ買ハナクテハナラス、今日農村ニ行ツテ見ルト、家根ガ剝ゲテモ、板塀ガ壞レテモ修繕出來ナイ狀態デアル、私共モ農村ニ賣ツテ居リマス Kredモ、殆ド木ヲ買ハナイ、買ヘナイノデス、斯ウ云フ狀況デス、役所ノ方ハ木代金ヲ高ク取レバ宜イト云フコトヲ考ヘラレドセウケレドモ、結局ハ消費者ガ困ルト云フコトニナル、之ニ對シテ農村當局ニ於キマシテモ、何カ特殊ナ方法デ、コンナニモノヲ釣上ゲナイヤウナ方法ハナカラウカト云フコトヲ私ハ考ヘテ居ルノデアリマスルガ、之ニ對スル御意見ヲ御聽キシタイ

○村上政府委員 公賣制度ガ場合ニ依リマ
スト、木材ノ價格ガ次第ニ上同イテ居ル時
ニハ、前ノ公賣ヨリ次ノ公賣、其ノ次ノ公
賣ト、次第ニ單價ガ高クナツテ來ルト云フ
コトハアリ勝チノコトデ、是ハ公賣ニ依ッ
テ吊上ゲタトモ言ヘマセスケレドモ、外部
カラ見ルト、公賣ノ爲ニ吊上ツタト云フヤ
ウナ見方モ出テ來ルト思ヒマス、ソコデ斯
様ナ物價ヲ抑制シナケレバナラス時ニ於キ
マシテ、公賣ニ對シテサウ云フ見方モ出テ
來ルト云フ情勢デアリマスノデ、此ノ際公
賣制度ニ付テ少クトモ此ノ事變中ニ於キマ
シテハ徹底シタ改革ヲ加ヘル必要ガアルノ
デヤナイカ、斯ウ云フ風ナ御話デアリマス、

私共モ同感デアリマス、勿論是ハ會計制度
トモ關係スルノデアリマシテ、直チニ之ヲ
斷行スルト云フコトハ色々方面カラ研究
シテ見マセスト、此處デ言明ハ出來マセヌ
ケレドモ、少クトモ公賣ニ付スル所ノ部分
ヲ極メテ縮少シテ、サウシテ現行ノ會計制
度ニ於テ許ス範圍内ニ於テ成ベク之ヲ他ノ
方法ニ依ッテ賣拂フ、即チ公賣ニ依ル所ノ價
格吊上ト見ラレルヤウナコトヲ少クトモ
事變中ハ止メルト云フコトニ付テハ、私共ノ
方デハ相當ナ決意ヲ持ツテ居リマス、ソレニ
進ミタイト思ヒマシテ今寄々協議中デアリ

マシテ、成案ヲ得マズレバ營林局長等ニモ
通牒致シマシテ、成ベク公賣制度ハ極メテ
之ヲ縮少シヨウ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デ
アリマス

○松浦委員 善處ヲ望ミマス、最後ニ樺太
森林政策ニ付テ御聽キシタイト思ヒマス、
只今ノヤウニ物ノドン／＼上ル時ニハ結局
跛行的ナ景氣モアリマセウガ、大體ニ於テ
需給關係カラ來テ居ルコトガ主デアラウト
思ヒマスガ、昭和十五年度、或ハ或モノニ
付テハ昭和十七年度カラ島外移出ヲ禁止ス
ルト云フヤウナコトガ前カラアツタヤウニ
思ヒマスガ、此ノ際私ハ樺太ノ林力ノ許ス
範圍内ニ於テ施業案ノ組替ヲヤツテ、サウ
シテ島外移出ニ付テモウ少シ繼續シテ、内
地ノ市場ヲ暴騰サセナイヤウナコトニ付
テ考慮サレタラドウカ、又島外移出ノ問題
ニ付テハ色々ナ事情モアリマセウガ、私ハ
個々ノ事情ニ囚ハレル者デハアリマセヌ、
唯今日ノ木材ノ需給ノ關係、昨日カラ私ノ
申シマシタ議論ノ中心ハ、今度ノ案ヲ實行
シテ行クナラバ早伐、過伐ガ匡正サレテ、
サウシテ濫伐ガ防ガレルト云フ反面ハ、ド
ウ考ヘテモ需給關係ニ大キナ穴ガアイテ來
ルダラウト思フ、ソレカト言ツテ輸入材ヲ
ドン／＼入ルト云フコトハ國際收支ノ均

衡上出來ナイ、結局國內資源ニ依ッテ補ハ
ナケレバナラスト云フコトニナリマスノデ、
從來御立テニナリマシタ所ノ此ノ昭和十七
年度以降島外移出ヲ禁止スルト云フコトモ、
寧ロ樺太林力ヲ維持スルニ於キマシテ、
一利ハアツタノデアリマセウ、併シ反面カ
ラ考ヘテ行ケバ輪伐機能低下、施業案ノ組
替デアルトカ、保安林ノ經濟的ナ取扱、ソ
レカラ昨日申シマシタヤウニ、施業案ノ未
編成地ニ對シテ施業案ヲ布クトカ、色々ナ
方法ニ依ッテ更ニソレヲ繼續スルノハ可能
デハナカラウカト思ヒマスガ、之ニ對スル
樺太長官ノ御意見ヲ御聽キシテ置キタイト
思ヒマス

○棟居政府委員 此ノ問題ハ前々カラ相當
ニ論議サレテ居ル問題デアリマシテ、又樺
太ト致シマシテハ非常ニ重大問題デアリマ
シテ、私モ赴任以來向フノ狀況等ヲ具サニ
檢討スルコトニ努力シテ居リマシタ、只今御
示シノヤウナ、或ハ多少増伐ノ餘地ガアル
ノデハナカラウカト云フ一ツノ假定ノ下ニ各
角度カラ研究ハ致シテ見タノデアリマスガ、
併シ只今マデニ得マシタ結論ト致シマシテ
ハ、昨日モ一言申上ゲマシタヤウニ、到底
其ノ餘力無シト云フコトニ落著イテ參ツテ
居ルノデアリマス、内地ニ移出致シマスル

爲ノ年期契約ハ、昭和十五年度ヲ以テ大體
約百万石バカリノ拂下ヲスルコトニナツテ
居リマス、ソレヲ以テ終了致スコトニナツ
テ居リマス、王子會社ニ對スル當該移出材
ハ十八年度ニ四十万石ヲ以テ打切トナルノ
デアリマス、其ノ後ハ全然内地ニ樺太材ヲ
移出スルト云フコトハ事實上出來ナクナル
ト云フ結果ニナルノデアリマス、從來、昭和
二年頃ニ於テ千万石モ内地ニ移出シテ居
ツタ樺太材ガ、其ノ後段々ト姿ヲ潛マシ
テ、昨年ハ二百九十万石、本年ハ二百四十
万石、昭和十五年ニハ百万石ト云フコトニ
ナツテ居リマス、私ハ内地ノ木材ノ需給ノ
大勢ヲ概觀致シマス、色々其ノ點ニ付テ
ハ樺太材ハ、樺太ト致シマシテモ考究ス
ル點ガアルコトハ十分承知致シテ居ルノデ
アリマスガ、併シ現在ノ樺太ノ林力カラ申
シマスレバ、六百万石以上モ負擔ガ過重ニ
ナツテ居リマスガ、之ヲ少クトモ距離ヲ縮
少サセタイト云フコトニ全力ヲ擧ゲテ居ル
ノデアリマス、隨テ此ノ意味カラ言ヘバ將來
内地移出ヲ打切ルト云フコトニ昭和七年以
來致シテ居リマス、尙ホ林政改革ヲ致シテ
居リマシテ、又改メテ内地ヘ移出スル爲ニ、
移出スル制度ヲ其ノ儘殘ス、或ハソレヲ擴
大スルト云フコトハ、吾々ト致シマシテハ

殆ど御引受ヶ兼ネルノデアリマス、將來何カ別途ノ方法ヲ講ズル餘地ガ絶無デハナイデハナイカト云フコトモ、實ハアラウト思ヒマスケレドモ、樺太廳當局ト致シマシテハ、甚ダ其ノ點ニ付キマシテ苦慮致シタ譯デアリマスガ、只今ノ所ハ御引受ヶ兼ネルト云フ實情ニナツテ居リマス、其ノ點能ク御諒承ヲ願ヘルコトト思ツテ居リマス

○松浦委員 然ラバ山林局長ニ御尋致シマスガ、昨日カラ色々御話致シマシタ重點ハ、木材ノ需給ノ關係デアリマス、ソレト森林資源ノ培養デアリマス、此ノ案ヲ實行シテ行ツタナラバ、昨日ハ昭和十七年度ニハ「バルプ」ノ自給モ出來ルト云フ御話デアリマスガ、外材ノ輸入ニ對シテハ、ヤハリ昭和十七年度以降ニハ必要ナイヤウニスル積リデアルカ、外材ノ輸入ハ一切セスト云フ方針ヲ御執リニナル御考デアアルカト云フコトヲ一ツ御聽キシテ置キタイト思ヒマス

○村上政府委員 是ハ物動計畫ニモ關スルコトデアリマスカラ、私カラドウ斯ウ云フコトヲハツキリ申上ゲル譯ニ參リマセヌガ、將來此ノ昭和十七年以降ニ於テ外材ヲドウスルカ、斯ウ云フコトニ付キマシテハ第一ハ北米材ノ問題ダラウト思ヒマス、是ハ物動計畫ニモ關スルコトデアツテ、ドウナル

カハ今後ノ年々ノ物動計畫ノ變更ニ依ツテ定マルコトデアリマシテ、此處ニ何トモ見透シヲ申上ゲル譯ニハ參リマセヌ、勿論一部ドウシテモ必要ナル所ノ大材ハ、是ハ軍事上其ノ他ノ關係上入レナケレバナラス、又南洋材ニ付テモ是ハ輸出ニ「リンク」スルヤウナ關係モアリ、又日本人ガ向フニ利權ヲ持ツテ居リマシテ、之ヲ相當伐ヲナイト利權ガナクナルト云フヤウナ關係モアリマスノデ、或ル一定ノモノハ入レナケレバナラナイ、ソコデソレ以外ノモノニ付テハドウナルカ、是ハ無論國際關係ノ收支ガ良クナリマスレバ、内地ノ林業ヲ壓迫シナイ範圍ニ於テハ相當ノ米材及ビ南洋材ガ入ルコトハ、是ハ差支ナカラウト、是ハ物動計畫ト離レマシテ——無論此ノ會デアリマシタヤウニ米材ノ洪水、南洋材ノ洪水ト云フコトニナツテ、内地ノ林業ヲ壓迫スルコトハ困リマスルケレドモ、國際收支ノ關係ガ改善サレテ、サウ云フコトガナクナレバ、相當ノ數量ガ入ルコトガ内地ノ林力ヲ涵養スル上カラ言ツテモ宜カラウト、斯ウ考ヘテ居ル次第デアリマス

○松浦委員 大體私ハ是デ質問ヲ終リタイト思ヒマスガ、昨日カラ色々御尋致シマシタ重點ハ、一ツハ林道網ノ完成ト更ニ保安

林ニ對スル問題デアリマス、尙ホ國有林ノ特別會計ノ問題ト更ニモウ一ツハ木材ノ需給關係ノ調整機關ヲ設置スル問題、ソレカラ先程來私ハ色々質問應答致シマシタガ、本法ノ第九條及ビ第十一條マデノ問題ニ付テ私ハ官民合同ノ委員會設置ノ問題等ニ付キマシテハ適當ナル時期ニ於キマシテ私共ノ意ノアル所ヲ表示シタイト思ヒマシテ、是デ質問ヲ打切りマス

○北委員長代理 ソレデハ午後二時マデ休憩ヲ致シマス

午後零時二十分休憩

午後二時四十分開議

○小山委員長 午前ニ引續キ會議ヲ開キマス——松尾君

○松尾(四)委員 私ハ質問ヲ致シマスル前ニ治山治水ノコトニ付キマシテ農務局長ニモ是非御尋ヲ致シタイノデゴザイマスカラ、其ノ機會ヲ與ヘラレンコトヲ希望致シマス、只今ハ山林局長デ結構デゴザイマス、今回ノ森林法中改正法律案ノ運用宜シキヲ得ルト得ナイト云フコトハ、第九條ノ施業案ノ編成ガ旨ク遂行出來ルカ出來ヌカト云フコトニ歸スルト思フノデス、其ノ他ノコトハ其ノ遂行ヲ便ナラシメル爲ニ森林組合、又森林組合聯合會、更ニ一歩々々一元

的統制ヲ加ヘルニ便利ナ手段ガアトノ條文ニ現ハレテ居ルノデアリマシテ、要スルニ此ノ施業案ガ旨ク編成出來マシテ、而シテ其ノ編成通りニ實行出來ルカドウカト云フコトガ、今回ノ森林法ノ改正ノ要點デアルト思フノデス、ソコデ私ノ第一ニ御尋ヲ申上ゲタイノハ、此ノ編成ノ方針ハ政府ノ資料トシテ御發表ニナリマシタ命令規定ノ事項ノ中ノ第二項ニ掲ゲラレテ居リマスル森林ノ施業案ノ内容、斯ウ書イタ所ニ二ツ私ノ御尋セネバナラス要點ガアルノデス、ソレハ内容ハ森林ノ生産力ト森林所有者ノ經濟的能力ニ即應シタル造林及ビ伐採ノ計畫、即チ森林ノ生産力ヲ中心ニ置イテ施業案ヲ編成スルト云フコトガ第一ニ現ハレテ居ル、ソレカラソレト又森林所有者ノ經濟的能力ニ即應シタ造林伐採、之ヲ加ヘテ計畫ヲ定ムト命令規定ノ第二項ニ斯ウ書イテアルノデアリマス、ソコデ森林ノ生産力ヲ本體ニ置イテ施業案ヲ編成シテ行カレルノデアラウト思ヒマス、森林生産力ヨリ施業案ヲ編成サレルト云フノハドンナ風ニヤラレルノデスカ、先ヅ其ノ施業案ノ編成ノ仕方ニ付テ御腹案ガアレバ承リタイ

○村上政府委員 施業案ヲ組ミマス時ニ、森林ノ生産力ヲ十分ニ考慮ニ入レナイデ施

業案ヲ組ミマス、結局其ノ施業案ニ依ツテ森林ヲ動カシテ行クコトガ出来ナクナリマスカラ、ソコデ第一ニ森林ノ生産力、即チ其ノ土地ニハドウ云フ木ガ一番適スルカ、適地適木ヲ選ンデ造林スルコトガ必要デアラウト思フノデス、隨テ吉野ノヤウナ地味ノ宜シヤウナ所ニハ勿論從來通りノ施業方法、即チ杉ヲ植エテ行カレルト云フコトガ、即チ施業案ノ造林樹種ノ内容ヲ成スモノト考ヘマス、之ニ反シ中國ノ山陽地方ノヤウナ大體、花崗岩質デアツテ杉ノ成育ニ適シナイト云フヤウナ所ニアリマシテハ、松ノ造林或ハ天然生ヲ撫育スルト云フヤウナ施業案ガ主トナラナケレバイケナイノデアリマシテ、左様ナ所ノ山ノ天邊ニ杉ヲ植エルト云フヤウナコトヲ考ヘテ參リマスコトハ施業案上面白クナイノデ、是ハ變更ヲ命ズルト云フコトニナラウト思ヒマス、要スルニ適地ニ適木ヲ植エルト云フコトガ造林ノ樹種選定ノ主眼ニナラウト思ヒマス、隨テ伐期ニ於キマシテモ大體其處ノ生産力ト云フモノヲ考ヘテ見マシテ、非常ナル短伐期林業ト云フモノハ是ハ特殊ノ所デアレバ特別、サウデナイ限リハ相當將來永續シテ森林トシテ使フ所ニハヤハリ地味ノ保存、樹木ノ生産ノ爲ニ土地ヲ惡クシナイコトガ必

要ニナルノデアリマス、サウ云フ所ヲ考ヘテヤハリ伐期ヲ決メテ行ク必要ガアラウト思ヒマス、ソコデ從來ノ林業ノ先進地ニ付テノ施業案ハドウ致スベキカト云フ問題デゴザイマスガ、大體ニ於テ現在ノ林業先進地ニ於ケル所ノ施業案ハ、現在ノ施業ヲ其ノ儘施業案トシテ編成セラレバソレデ宜シイト私ハ思ツテ居リマス

○松尾(四)委員 サウ致シマス、只今ノ御説明デハ先進地ノ現在行ハレテ居ル施業ノ方法ニ依ツテ是ニハモウ變革ヲ加ヘナイ考デゴザイマスガ、私共ノ方ノ地方、即チ奈良縣ノ民有林ハ何百年來ト云ヒマスガ、慣習ガアリマシテ、勿論一定不變ナ施業方法ト云フモノガ決ツテ居ル、植林ヲ致シマシテカラ伐木マデノ間ニハ何年目位ニハ間伐ヲ行ツテ行ク、ドレ位ノ割合デカ間伐ヲ行ツテ行ク、又何年目ニナレバ伐期ガ來ルト云フヤウナコトハ今現ニ慣習デ行ハレテ居ルノデスガ、今ノ局長ノ御考デアレバ、改メテ施業案ヲ作製スルノ必要ガナイト云フ御考デゴザイマスガ

○村上政府委員 奈良縣アタリノ既ニ林業ガ整備シテアリマス所ニ於テハ、現在ノ施業ヲ其ノ儘施業案トシテ認メテ行カウ、隨テ現在ノ施業ヲ其ノ儘施業案ニ編成致シマシテ、行政官廳ノ認可ヲ得ルコトハ必要デアリマスケレドモ、其ノ内容ハ現在ノ施業其ノ儘ガ施業案ノ内容ニナルコトト御諒解ニナツテ宜シイト思ヒマス

○松尾(四)委員 サウ致シマス、現在ノ程度ノ施業案ヲ變更セヌデモ宜イト云フコトニナレバ、森林組合ヲ作ル必要モナイコトニナル、施業案ノ作り方ニ變更ガ加ハハルノデ、ソコニ其ノ施業案ヲ作成スルニ當ツテ、個々ノ小サナ民有林ヲ各ノ狀態デ作ラシテハ、一地域内ノ施業ガ統一出來ナイノデ、組合ヲ拵ヘテサウシテ其ノ拵ヘタモノヲ一ツノ森林ト見テ、ソレニ施業案ヲ編成シテ行カウト云フヤウナ風ニ此ノ法案ノ趣旨ガ見エルノデスガ、現在行ハレテ居ル施業ノヤリ方デ宜シイト云フコトデアレバ、個々ノモノガ既ニ出來テ居ルノダカラ組合ヲ拵ヘル必要ハナイ、其ノ儘デヤツテ行ケバ宜イト斯ウ云フコトニナリマスガ、其ノ點ヲ明瞭ニシテ置キタイト思ヒマス

○村上政府委員 是ハ組合ハ單ニ森林施業ノ合理化ト云フコトニナルノミナラズ、一面ニ於テハ共同施設トシテ林道ヲ作ルコトモアリマス、ソコデ奈良縣ノヤウナ森林施業ノ發達シタ所デアリマシテモ、下ヲ造林シテ居ルノニ、上カラ木ヲ伐採シテ馬糞カ

何カデ下ノ造林地ニドシノ降サレルト云フコトニナリマス、下ノ造林シテ居ル所ガ滅茶々々ニナリマスカラ、林道ヲ合理的ニ作ツテ行クト云フヤウナ必要ガ必ズアルト思ヒマス、其ノ意味デヤハリ施業案ガ必要デゴザイマス、尙ホ申上ゲテ置キマスガ、國有林等ノ施業案デアレバ、伐採組合ト云フモノヲ作りマシテ、此ノ谷カラズツ伐ツテ行ク、其ノ代リ次ノ谷ノ方ハ十年マデ伐採ヲ控ヘル、斯ウ云フヤウナヤリ方ヲシテ居ルガ、併シナガラ、私有林、殊ニ中小ノ林業者ヲ集メテ居ル所ノ私有林ノ森林組合デアツテ、此處ハ早期斫伐箇所デアル、十年間ハ此方ノ谷ヲ伐レ、向フノ谷ハ十年間マデハイケナイト云フヤウナコト等ハ爲スベキコトデナイノデアリマシテ、伐期ニ達シタモノハ何處カラデモ伐ルト云フヤウナ施業案ヤル、唯木ヲ出スト云フヤウナ場合ニハ、ヤハリ合理的ナ林道計畫ヲ作リマセスト、他人ノ立派ナ幼齡林ヲ倒シテ滅茶滅茶ニシテ、サウシテ其處カラ外ノ木ガ出テ行クト云フコトニナツテハ、非常ナ損害ヲ來スヤウニナル、ダカラサウ云フ搬出計畫等ノ爲ニ森林組合ト云フモノヲ作ツテ、各人ノ間ニ調整ヲ保ツテ行ク必要ガアルダラウト考ヘテ居リマス

○松尾(四)委員 一寸私ハ今ノ政府委員ノ御答辯ハ私ノ尋ネテ居ルコトト違ツテ居ルノデハナイカト思ヒマスガ、私ノ御尋致シマスコトハ施業案ノ大體ノ方針ハ、現在行ハレテ居ル適地適木主義デ、先進地ニ行ハレテ居ル施業案ヲ其ノ儘デ宜イト云フ考ヘ方ハ現在奈良縣ノ吉野アタリニ行ハレテ居ル個々ノ山林ノ施業ノ方法ガ宜イト、斯ウ御考ニナツテ居ルノデハナイカト思フ、ソレハ私モ其ノ點ニ付テハ局長ノ御答辯デ宜シイト思フノデアリマス、併シソレデ個々ノ施業案ヲ認メテ行クト云フコトニナレバ、個々ノ施業案ガ國家的ニ見テ非常ナ不經濟ガ起ルノデ、サウ云フ點ヲ是正スル必要ガアルノガ今回ノ組合ノ設立ノ趣旨デヤナイカト思フノデス、例ヘテ言ヒマス、實情ハ小サナ山林ガ區域ヲ接シテ此處ニニツモ三ツモ出テ來ルノデス、其ノ時ニ例ヘバ西ノ方ニアル山林ハ非常ニ幼齡デ、又東ノ方ハ老木デアル、ソコデ成長率ノ多イ若イ木ヲ殘シテ、モウ成長ノ止マツタ老木ヲ伐ツテ行クトガ、國家的ニ見テ森林資源ノ確保ニナルノデアアル、然ルニ此ノ幼齡林ヲ伐ツテ行カナケレバナラスト云フヤウナ事情ガ起ツテ來テ居ル場合ニ、老齡林ヲ先ニ伐ツテ幼齡林ヲ殘シテ行クヤウニシテ行カナ

ケレバナラスト思フノデス、然ルニ個々ノ方面カラ言ヒマス、西ノ方ノ山ハモウ一ツノ施業案ガ出來テ居リマス、此處ノ山林ノ施業案ハヤハリ老木カラ伐ツテ段々幼齡ニ及ブ、併シ東ノ方ノ山ハモウ既に全部ガ老木ニナツテ居ルト云フ場合ニハ、老木カラ先ニ伐ツテ幼齡樹ヲ殘スト云フコトガ國家的ニ見テ森林資源ノ確保ニナル、サウ云フ所ヲ是正セヌデ各々ノ施業案ガアルノヲ認メテ行クト云フコトニナレバ、組合ヲ作ル必要モナイト思フノデスガ、此ノ點ニ於テ組合ノ必要ガアルノデヤナイノデスカ、又アナタノ今言ハレルノハサウ云フ場合ヲ考ヘズニ林道ヲ計畫シテ行ク上ニ於テヤルト云フヤウナ趣旨デアルト云フ風ナ御話デスガ、ソコガ私ノ御尋申上ゲル所ト違フヤウニ思ヒマスノデモウ一度御伺シマス

○村上政府委員 御尋ノ通りデアリマシテ、吉野邊リデ實行シテ居ル所モ、老齡林ハ段段間伐シテ行ク、幼齡林ハ主伐ハ致サナイヤウナ慣行ニナツテ居ルト思ヒマス、東ハ老齡林デアリ、西ハ幼齡林デアルトスレバ、老齡林ハ現在ノ施業方法デモ宜イ、西ノ幼齡林ノ中ニ老齡樹ガ混ツテ居レバ伐ツテ行クト云フ實情ニナツテ居リマス、ソレハ其ノ儘實行シテ行ケバ宜シイト思ヒマ

ス、其ノ間ニ搬出ノ爲ノ林道計畫等ノ爲ニ、相當ノ伐採調整ト云フコトガ必要デアラウト思ヒマスガ、幼齡林カラ伐ツテ行クト云フコトハ現在ニ於テモナカラウト思ヒマス、幼齡林ノミヲ早伐スルト云フヤウナコトハ、現在ノ彼處ノ施業ノ方法トモ反スルモノデスカラ、サウ云フコトハ今度ハ抑制サレルノデアリマス、斯ウ考ヘテ居リマス、是ハ森林組合ヲ作リマシタ施業案ニ於テ、現在ノ施業方法ヲ其ノ儘採用スルト致シマシテ、左様ナ幼齡林ノ早伐ト云フコトハ、施業案カラ云ヘバ出來ナイ筈デアル、是ハ個々ノ森林所有者ガ、特殊ノ必要トカ何トカ云フコトカラ、或ハサウ云フコトヲ行フコトガアルカモ知レマセヌガ是ハ無論抑制サレマス、サウ諒解シテ戴キタイ

○松尾(四)委員 只今ノ御説明ニ依リマスト、個々ノ場合ニ於テ、例ヘバ今西ニ稚イ木ノ山ガアリ、東ノ方ニ老齡ノ古木ノ山ガアル、其ノ場合ト雖モ個々ノ施業案ハ老木カラ伐採ヲシテ行ク、是ハモウ當然デス、併シナガラ現状ハ老齡林即チ古木モ亦幼齡林モ混雜シテ實ニ雜然トシテ居ルコトガ現状ナンデス、此ノ今ノ儘ノ狀態デ行ケバ結局稚イモノヲ先ニ伐ツテ行クヤウナ狀態ニナツテ古木ガ殘ルト云フ狀態ニナルノヲ防

グ爲ニ老木カラ先ニ伐ラスト云フ必要ガアルノデ、例ヘバ今申シマシタ西ニ稚山ガアリ東ニ老木林ガアルナラ、老木ノ山ノ方カラ先ニ伐ラシテ、ソレカラ西ニ行ク、斯ウ云フ風ニ進ムノデナケレバナラスト思フノデスガ、是ハ實際問題ニ於キマシテハ斯ウ云フ場合山林ノ所有主ガ別ニナツテ居リマスル以上ハ、幼齡ノ方カラ先ニ伐採シテシマツテ、老齡ノ方ガ殘ルヤウナ狀態ガアルノデス、ソレデ其ノコトハヨクアリ勝チナコトデ、又アリ勝チノミナラズ今日ハ左様ナ狀態ニナツテ來タカラ、森林法デ伐採ヲ禁止シナケレバナラスト云フコトニナツテ來タノデスガ、詰リ個々ノ施業案ヲ認メテ行クト云フコトデアレバ、其ノ老齡林カラ先キ伐ラシテ幼齡林ヲ殘スト云フコトニハナリ得ナイ場合ガ起ル、其ノ場合ヲ統制スル爲ニハ森林組合ヲ作ツテ、ヤハリ組合ノ力デ先ニ老齡林ヲ伐採シテ幼齡林ヲ殘スヤウニ施業案ヲ編成シテ行カナケレバナラスト思フノデガ、サウ云フ必要カラ森林組合ノ必要ガアルヤウニ思フノデスガ、其ノ點ハドウ御考ニナリマス、現在ノ個々ノ施業案ヲ認メテ居レバ、ソレデ當然老木ガ伐採サレテ幼齡林デ殘ツテ行ク狀態ニ置カレルト思ハレマス、其ノ點ヲ一ツ伺ヒタイ

○村上政府委員 仰セノ通りデアリマシテ、森林組合ヲ作ツタ以上ハ、國策上カラ言ヒマシテモ、伐期ニ達シマシタ木カラ伐ツテ行ク、是ガ宜シイノデ、サウ云フヤウニ指導シテ行カナケレバナリマセヌ、森林組合設立ノ目的モ亦是ニアラウト思ヒマス、ソレデ現在ノ施業案ヲ認メテ行ケバ、現在ノ施業ガ、是ハ實際ハ或ハ多少離レタコトヲヤツテ居ル所モアリマセウガ、ヤハリ奈良縣邊リノ森林經營ノ基本ハ、伐期ニ達シタモノカラ伐ツテ、幼齡林ノ方ハ間伐ヲヤツテ行クト云フノガ奈良縣ノ林業ノ基本的ナモノダト思ヒマス、隨テ此ノ基本的ナモノハ今後モ其ノ儘認メテ行キマシテモ、ソレニ依ツテ決シテ幼齡林カラ伐採シテ宜シイト云フコトニハナリマセヌノデ、森林組合ヲ作リマシテ、今アリマス所ノ奈良縣ノ林業ノ現狀ヲ其ノ儘認メテ、サウシテ之ヲ崩サナイヤウニ、是ガ將來何カノ關係デ惡化シテ行クト防グト云フコトニシテ行ケバ宜シイノデハナйкаト斯ノ思ツテ居リマス

○松尾(四)委員 サウ致シマスト斯ウ云フコトニ解釋シテ宜シイノデスカ、只今個々ノ山林ニ個々ノ施業案ガ今日マデ慣習的ニ立テラレテ居ル、之ヲ今度ノ施業案ト認メテ行クト、斯ウ云フコトデスカ、ソレハ分リマシタ、個々ノモノヲ施業案トシテ持ツテ行ク、又別ノ個々ノ山林ガヤハリ同ジ施業案ヲ持ツテ行ク、ソレヲ一ツニ合セたら一ツノ組合ガ出來マス、組合ハ出來マスカ、個々ノ施業案ヲ皆ソレノ持ツテ居ル、ソレヲ統制シタ施業案ニスル必要ハナイノデスカ、アルノデスカ、組合トシテ一體トナツタ時ニハ、今マデハ個々ノモノデアリマスカ、十寄セレバ十ガ一ツニナツタモノガ森林組合デアル、其ノ森林組合ヲ地域的ニ一ツト認メ施業案ヲ作ルノデスカ

○村上政府委員 森林組合トシテノ施業案ヲ作リマスカ、是ハ個々ノ施業案ガ其ノ儘纏ツタモノガ森林組合ノ施業案デス、唯其ノ中特殊ノ所ニ於テハ、是ハ伐採計畫等ノ爲ニ多少個々ノ施業案ヲ修正シナケレバナラスヤウナコトガ起ルカモ知レマセス、大體ニ於テハ個々ノ施業案ガ既ニアア云フ所ニハ立派ニ出來テ居ル、其ノ施業案ハ二十年デ皆伐ルト云フヤウナ施業案ハナイ譯デ、サウ云フコトヲヤラレルノハ施業案ト離レタ勝手ナヤリ方デアツテ、慣習的ニ出來上ツテ居ルノモ立派ナ施業案デアリマスカ、ソレヲ全部綜合統一シタモノガ即チ組合ノ施業案デアル、斯様ニ考ヘテ居リマ

ス

○松尾(四)委員 ソレデハ更ニ進ンデ伺ツテ見マス、一寸其ノ點ノ理解ガ出來マセヌガ段々伺ツテ居ル内ニ分ツテ來ルト思ヒマス、サウシマスト今度組合ヲ組織致シマスル範圍デスカ、ドノ程度ノモノヲ包含シテ森林組合ヲ作ル所謂單位ニスルノデスカ、地域的ニデモ考ヘラレルノデスカ、其ノ點一ツ伺ヒマス

○村上政府委員 大體一町村一組合トシタイト思ヒマス、但シ森林狀態ヲ成シテ居ルモノデアリマシテモ、絶對的ナ林地デナクシテ農耕地ニ轉換シ得ルヤウナ平坦林ト云フヤウナモノモアリマス、是等ノモノハ他ノ大面積ノ森林ト接シテ居ナイ以上、是ハ森林組合カラ省イテ差支ナイ、又其ノ人ノ所有ノ森林ガ五反歩以下デアル、又薪炭林等デアレバ一町歩以下デアルト云フヤウナモノハ是ハ森林組合ニ加入ノ必要ガナイ、斯様ナコトハ命令ナリデ定メタイ、斯ウ思ツテ居リマス、ソレデサウデナクシテ大體林業ヲ經營スルヨリ以外ニニコノ土地ノ利用ガ出來ナイト云フ所ニアル森林デ、一町歩以上ノ森林ヲ所有シテ居ル所ノ者ハ森林組合ニ入ル、斯様ニ考ヘテ居リマス

○松尾(四)委員 一町村ヲ一單位トシテ地域的ニ集メル、個々ノ民有林ノ其ノ一村内ニアルモノハ全部ニコニ包含セシムル、斯ウ云フ趣旨ニナレバ、其ノ個々ノ施業案ヲ大體認メテ行クト云フコトデアレバ、組合全體トシテ今度施業案ヲ編成スル必要ガナイヤウニ思ハレル、ソレデスカラソレナラバモウ現在民有林ガヤツテ居ルアノ儘デ宜イヤウニ思フノデスカ、何ガ故ニサウ云フ必要ガ起ルノデスカ、之ヲ一ツ伺ヒタイ、段段疑問ガ殖エテ行ク譯デスカ……

○村上政府委員 森林ノ合理化ト云フノハ、奈良縣ノ吉野地方ノヤウナ林業ノ進シタ所ガ主タル目的ニナルノデハナクシテ、寧ロ林業ノ遅レテ居ル所ガ目的ニナル、ガ併シ主タル所デアレバ現狀ノ儘是ガ一ツノ施業案ニナリ、是ガ一ツノ組合ニナルノデスカ、殆ド現行ト變ラナイ、隨テ殆ド何モ加フルモノハナイデハナйкаト云フ御質問ハ御尤デアリマス、併シナガラ日本全國ニハ總テガ奈良縣ミタイナ立派ナ林業地ニナツテ居ルノデヤナイ、アア云フ所バカリデアリマスレバ、或ハ森林法改正ノ必要モ起ツテ來ナイカモ知レマセヌガ、日本全體ヲ見マスト、隨分幼齡林ノ早伐、過伐ノ所モアルシ、又土地ノ利用ノ極メテ不集約的ノ所モアリマス、左様ナ所ニハ是カラ施業案ヲ

作ラセテ森林ノ造成ニ努メナケレバナラス、サウ云フ所ガ現状ト大變變ツタコトニナリマス、隨テ奈良縣トカ云フヤウナ所ニ於キ

マシテハ、從來ノ慣行的ニ成立シタ所ノ施

業ノ慣習ガ此ノ度ハソレガ施業案ト云フコ

トニナリマス、サウシテソレガ一ツノ森林

組合ニ統制セラレルトシマシテモ、結局森

林組合ノ機能ト云フモノハ施業ノ調整ト云

フコトモ致シマスルガ、一方ニ於テ色々ノ

共同施設ト云フコトニ力ヲ加ヘテ行ク、斯

ウ云フコトニ考ヘテ居リマス

○松尾(四)委員 サウ致シマス、私ハ他

ノ地方ノコトハ暗イモノデスカラ分リマセ

スガ、私等ノ關係致シテ居リマス地方、即

チ奈良縣一帶ノ林業先進地デハ、現在ノヤ

ウナ施業案ヲ行ツテ居ル、個々ノモノガ集

ル程度ノモノデ、餘リ變ツタ施業案ヲ御編

成ニナルコトハナイ、斯ウ云フコトニ考ヘ

テ置イテ宜シイノデゴザイマス、ソレデ

アレバ森林組合ノ必要モ却テ——私ハ組合

ノ所デ更ニ是ハ伺ヒタイト思ツテ居リマス

ガ、組合ヲ拵ヘル爲ニ色々ナ經費、又其ノ

他ノ用事ガ澤山殖エルダケデ、何ニモナラ

ナイ、經濟的ニ何モ利益ハ出テ來ナイ、現

行ノ施業案ノ通りデアツテ個々ノ者ガ寄ツ

テ拵ヘルダケデ、必要ナケレバハ止メテ

貰ヒタイ、非常ニ煩雜ナモノデ困ルト思ヒマス、デスカラ此ノ點ヲ更ニ伺ツテ置キタ

○村上政府委員 奈良縣ニモ既ニ森林組合

ガ相當ニアリマス、ソレデ此ノ森林組合ハ

必ズ作ラナケレバナライト云フモノデハ

ナイノデアツテ、大體申シマスレバ森林組

合ハ政府ノ方デ成ベク作レト云フヤウナ意

憑ハ致シマスケレドモ、特別ニ必要ナル所

デナケレバ、コチカラ森林組合ヲ作レト

云フヤウナ命令モ出サナイノデアリマス、

其ノ點ハ大體奈良縣ミタイナ所ニ於テハ、

或ハ所ニ依ツテハ森林組合ヲ作ル必要ガナ

シト云フコトデ、今後モ作ラナイデ済ムト

云フヤウナ所モアリ得ルダラウト思ヒマス

○松尾(四)委員 慥カ本案ヲ御説明ノ時ニ

アツタカト思ヒマスガ、私ハ全部資料ヲ讀マ

スモノデスカラ、少シ私ノ調ガ足ラヌカモ

知レマセヌガ、今後八箇年內ニ全國ノ山林

ニ對シテ、其ノ施業案ヲ編成セシムル、斯

ウ言ツテ居ラレタヤウニ思フノデスガ、ソ

レハ即チ全國ニト、斯ウ言ツテ居ラレマス

ガ、ヤハリ其ノ區域內ニ入ツテ居リマスノ

デ、全部ヤラナイデモ宜シイト云フコトデ

アリマスナラバ、私ノ所ハ或ハ除カレルモノ

ダト承知致シマスガ、其ノ點ヲ一ツ……

○村上政府委員 勿論吾々ノ方トシテハ、今森林組合ノ設立モ慫慂スル、隨テ絶對林地ノ所ニハ施業案ヲ大體ニ於テ作ル、作リ

方ガ現在慣行トシテ認メラレタモノデアツ

テモ、之ヲ一ツノ施業案ニシテ、法的根據

ヲ與ヘルト云フコトガ必要ト思ヒマス、其

ノ點ニ於テ實質ハ變ラナイトシテモ、施業

案ヲ作ツテ戴キタイノデス、又森林組合モ

從來奈良縣地方等ニ於テモ出テ居ルノデア

リマスカラ、將來モヤハリ各處林業家ノ間

ノ色々ノ利害ヲ調整スル上カラ言ツテモ、

森林組合ガ出來タ方ガ都合ガ宜シイト斯ウ

思ヒマスノデ、奈良縣ハ森林組合ノ設立カ

ラ省クトハ申シマセヌ、併シナガラ此ノ森

林組合ノ設立ニ付テハ強制ト申シマシテモ、

結局最後ノモノハ森林所有者ニ命令シテ、

設立ヲ斡旋サセルト云フコトデ止マツテ居

ルノデアリマシテ、ソレハ森林組合ガ出來

ナイ時ニ對シテ罰則等ト云フモノガナイノ

デアリマスカラ、ソレデ政府ノ計畫トシテ

ハ、大體林業ヲ目的トスル所ノ林地ニハ、

施業ノ合理化ヲ圖リソコニハ大面積ノ所有

者デアレバ獨立シテ施業案ヲ作ル、サウデ

ナケレバ森林組合ヲ作ツテ置ク、大體日本

全國主要ナ所ハ總テサウ云フヤウニシタイ

ト、斯ウ考ヘテ居リマス

○松尾(四)委員 今ノ御説明ニ依リマス、假令現行ニ變更ガ起ラナイデモ森林組合ヲ

作ラシテ、施業案ヲヤハリ編成セシメル、

但シ其ノ施業案ハ現行ノヤウナモノデモ、

左様ニシテヤハリ森林組合ヲ設立セシメル

方針ダト云フ御話デアリマスガ、ソレデア

レバドウモ森林組合ヲ作ルダケ煩雜ナモノ

ダト思ヒマスカラ、此ノ點ニ對シテハ私ハ

意見ハアリマスガ、更ニ其ノ意見ハ又別ノ

時ニ申上グルト致シマシテ、次ノコトヲ御

尋致シマス、此ノ資料ノ命令規定ノ第二項

ノ中ニ「森林ノ生産力ト森林所有者ノ經濟的

能力ニ即應シタル造林及伐採ノ計畫ヲ定ム

ルモノトスルコト」トアリマスガ、此ノ經濟

的能力ニ即應シタル造林及伐採ト云ヘバ、

其ノ山林所有者ノ身分ニ應ジ、財産ニ應ジ

テ伐採スル、早く金ヲ作ラナケレバナラス

時ニハ伐採スル、又植林出來ルヤウニナツ

タナラバ植林スル、或ハ造林モスル、ソシ

テソレガ出來ナイ間ハシナイ、即チソレガ

即應、其ノ時ニ應ジテヤル、サウ云フ意味

ニ解釋シテ宜シイノデゴザイマス、

○村上政府委員 サウ云フ意味トハ多少異

リマス、ソレデハ結局造林シナイモノハ何時

マデモ造林シナイデ宜シイト云フコトニナリ

マスノデ、此ノ經濟的能力ニ即シタル——

例へば伐期等ニアリマシテモ、國有林等ハ色々ナ關係カラ、特ニ長伐期ノ林伐期ヲ採ツテ居リマス、併シナガラ私有林業ニアリマシテハ、ヤハリ金利ト云フコトモ考ヘナケレバナラス、是等ノ慣行伐ト云フコトモ考ヘナケレバナラス、隨テ尾鷲トカ天龍トカ云フヤウナ所デアツテハ、ヤハリ三十年トカ四十年トカノ伐期ヲ採ツテ居リマス、ソレガ其處ノ經濟的能力ニ即シタル伐期ダト思ヒマス、又造林ノ樹種選定等ニ付キマシテモ、是モソレノ早ク利ニ廻ル木ヲ植エルト云フ必要モ私有林ニ於テハ多イダラウ、例へば、下ノ方デハ櫟ヲ植エルトカ、或ハ農業の關係ヲ相當持ツテ居リマス所ノ桐トカ、サウ云ツタヤウナ早ク利ノ廻ル所ノ木ヲ植エルト云フコトモ必要デアラウ、或ハ三極、楮ト云フヤウナ物ヲ上ニ植エルト云フヤウナコトモ必要ダラウト思ヒマス、サウ云フ色々各種ノ其ノ人ノ經濟的關係ト云フ所モ考慮シテ、サウシテ施業案ヲ作ル、斯ウ云フコトヲ考ヘテ居リマス

○松尾(四)委員 只今ノ御説明ニ——私ハ別ニアナタニ理窟ヲ言フ譯デアリマセヌケレドモ、今ノヤウナコトハソレハ適地適木ト云フコトニナリハセヌデセウカ、櫟ヲ作ツテ其ノ方ガ經濟的價值ガアルト云フコト

ハ、是ハ適地適木デヤナイデセウカ、ソレハ無論前ノ森林ノ生産力ノ方ニ入ツテ行クモノデヤナイカ、其ノ書キ方ハ森林所有者ノ經濟的能力、詰リ其ノ人ノ財産ニ應ジタルモノデアルヤウニ伺フノデアリマスガ、サウ云フ意味デハナイノデアリマスガ、森林ノ生産力ト經濟的能力ニ即シタル造林ノ方トハ、餘程茲ニ矛盾シタルコトガ起ルト思ヒマスカラ、是ハ先ニ生産力ヲ御尋シテ、後ニ經濟的能力ヲ御尋シテ居ルノデス

○村上政府委員 是ハ森林ノ生産力ト森林所有者ノ經濟的能力、此ノ兩方ヲ織込シテ、一ツノ施業案ヲ作ル時ニ考ヘナケレバナラスト思フ、ソコデ例へば適地適木ト云フコトカラ申シマス、櫟ガ宜イカ杉ガ宜イカト云ツテモ、是ハドチラモ宜イヤウナ所ガアラウト思ヒマス、左様ナ場合ニ於テドチラヲ採ルカト云フ時ニ、櫟ヲ採ルト云フヤウナコトハ、是ハ經濟的能力ト云フ方ニ入ルダラウト思ヒマス、又特ニ百年トカ百何十年トカ、是ハ吉野邊リニサウ云フ伐期ニサレテ居ル所モアリマセウガ、一體カラ云フテサウ云フヤウナ伐期ヲ採ルト云フコトハ、是ハ早く收穫ヲ得ルト云フ點カラ云フト困難デアリマス、サウ云フヤウナ施業案ハ無論作ラナイ、ソレハ其ノ人ノ經濟的能

力ヲ離レタコトデアリマスカラ、サウ云フヤウナ施業案ハ作ラナイ、斯ウ云フコトデアリマス、尙ホ造林ニ付テハ跡地ニ付テ無論是ハ造林シナケレバナラス、造林ハ其ノ人ノ經濟的能力ト云フコトモ相當考ヘナケレバナラス、ソコデ必ズ全部ヲ人工造林スルト云フコトニナルト金ガ掛ルト云フコトモアラウト思フ、ソコデ或ル部分ニ付テハ、天然造林ニ依ツテ天然生下種ヲ撫育シテ行クト云フコトモ考ヘナケレバナラス、例へば松ノ林等デアレバ、自然ニ天然下種ガ出テ來テ、ソレヲ撫育シテ行ツテモ立派ナ山ニナルヤウナ所ガアルカラサウ云フ所ハサウ云フコトデ進ンデ行キタイ、斯ウ考ヘテ居リマス、必ズシモ伐採跡地ハ全部人工造林ニスルト云フコトハ、場合ニ依ルト其ノ人ノ經濟的能力ヲ超越スルコトニナリマスカラ、左様ナ所モ考ヘマシテ、造林等ニ付テモ、全然人工造林デナケレバイカヌ所ハ別デスガ、又杉ヲ植エルト云フヤウナ場合ニ於テハ人工造林デナケレバイカヌセヌケレドモ、サウデナイ松トカ或ハ潤葉樹等ノ場合ニ於テハ天然下種造林或ハ萌芽林ヲ撫育スルト云フコトデ十分造林費ヲ安クシテヤツテ行ク所モアリマスカラ、左様ナ所ヲニ織交ゼテ施業案ヲ作ツテ行キタイ、勿論

一方ニ於テハソレニ伴ツテ各種ノ助成施設モ考ヘナケレバナラス、左様ナコトハ別ニ豫算トシテ要求シナケレバナラスト思ツテ居リマス

○松尾(四)委員 サウ致シマス、此ノ施業案ヲ作ルノニハ、森林ノ生産力、即チ適地適木ト云フコト、之ニハ地質上氣候上其ノ位置ノ上カラ見タル適地適木ト、經濟上カラ見タル適地適木トガアツテ、又ソコニ自ラ相當ナ差異ガアリマスカラ、ソレヲ經濟的能力ニ即應シタモノヲ加味スルト云フ施業案ノ作り方デアアル、斯ウ云フ御説明ノヤウニ伺ヒマスガ、ソレデアレバ、山林所有者ノ全然個人ノ經濟的ノコトガ此ノ施業案ノ作成ニ當ツテハ加味サレナイ、即チ財產家デアレバサウ早く急イデ山林ヲ伐採スルコトモ要ラナイノデアリマスガ、僅カヅツデモ早く伐ツテ換價シナケレバナラスト云フ個人的事情ガ起ツテ來ル、其ノ方面ハ施業案ニハ織込ム意思ガナイノカ、此ノ條文ハ其ノ點ヲ含シデ居ルモノト見ラレナイ、今ノ御説明デアレバ其ノ點ヲ考ヘテ居ラスヤウニ伺フノデスガ、考ヘテ居ラスノデスカ、此ノ經濟的能力ト云フコトハドウ云フコトデアリマスガ、其ノ點ガマダ明瞭シマセヌカラ御伺致シマス

○村上政府委員 杉ノ伐期ト言ヒマシテモ是ハ色々アリマス、三十五年位ノ所モアレバ四十年位ノ所モアルシ、又吉野地方見タイニ、百年或ハ九十年ト云フヤウナ所モアリマス、伐期ヲドウ定メルカト云フノハ、今申シタヤウニ個人的ノ色々ナコトモ、或ハ見デ定メナケレバナラス、隨テ普通ノ伐期ヨリハ更ニ低下シテ杉ヲ二十年デ伐ルトカ、二十五年デ伐ル、是ハ特殊ノ林業地帯ニサウ云フ所モアリマス、例ヘバ四谷丸太ヲ產出スル東京府ノ西川地方ハサウ云フ林業モ持ツテ居リマスガ、是ハ特殊林業トシテ認メナケレバナリマセヌガ、サウデナイ所ニハ一般的ニ見デ二十五年、二十年ト云フヤウニ伐期ヲ下グルコトハ、是ハ其ノ人ノ經濟的能力ニ於テ宜イトシテモ、ソレハ認メマセヌ、大體合理的ノ伐期デアレバ、ソレハ三十五年、四十年、四十五年ニスルカ、或ハ特ニ長期ニシテ之ヲ八十年、百年ニスルカ、或ハ個人ノ經濟的能力ヲ見テ、其ノ人ノ希望ニ依ツテ定メテ宜シト考ヘテ居リマス、其ノ意味ニ於テ經濟的能力ト云フモノヲ考ヘテ居リマス

○松尾(四)委員 サウスルト今ノ御説明デハヤハリ個人ノ事情モ或ル程度マデ認メルヤウニ伺ハレルノデス、ソコデモウ少シ率

直ニ申シマス、施業案ノ編成ノ方針、立テ方ニ當ツテハ、其ノ山林ノ適地適木、又其ノ山林ノ經濟的能力、ソレガ中心デ、個人ノ事情ハ一步モ容レナイ、斯ウ云フヤウニヤツテ行カナケレバ此ノ法案ノ精神ニ副ハヌヤウニ思フノデス、今日木材ヲ濫伐スルト云フコトヲ防グ爲ニ施業案ヲヤルト云フガ、濫ニ伐ルト云フノハ何ノ爲ニ伐ルカ、個人ノ事情以外ニナイ、個人ノ事情ノ爲ニ濫リニ伐ル、決シテ何人モ好キデ稚木ヲ伐ルノデハナイ、其ノ個人ノ事情カラ濫伐スル、ソコデ其ノ個人ノ事情ヲ容レルコトヲ許サヌト云フコト、此ノ一ツノ禁止命令ヲ立テルコトガ所謂施業案ダト思フ、デスカラ此ノ施業案ヲ編成スル根本方針——其ノ森林ノ生産力ト、ソレカラ經濟的能力ニ即應シタ造林及ビ伐採ノ方法ハ森林ヲ中心トシタモノデ、個人ノ事情ハ容レナイデ宜シイ、私ハ容レナイノガ本當デヤナйкаト思ヒマスガ、併シソレヲ容レルカ容レヌカト云フコトヲ伺ヒタイ

○村上政府委員 嚴格ナ意味ニ於テ森林ソレノミヲ目的トシテ學理的ニ施業案ヲ作ル、ソレニ依ツテ伐採計畫ヲ決メルト云フコトデハ、個人ノ林業ハ動イテ参リマセヌ、ソレデハ個人ノ林業ヲ死滅ニ導クモノト思ヒ

マス、ソレデ私共ガ森林法改正ヲシタノハ、國家ノ目的ト個人ノ利益ト云フモノノ調和ヲ圖リマシテ、無論森林ヲ破壊スルヤウナ伐採方法、或ハ伐採シタ跡ニ全然何等ノ措置ヲ講ジナイ、斯ウ云フヤウナモノハ困リマスケレドモ、大體森林ノ生産ノ保護ノ出來ル範圍内ニ於テ個人ノ創意、個人ノ自由ト云フモノヲ認メテ行カナケレバナラス、ソレデナケレバ全ク學理的ノ森林ト云フモノガ主トナツテ、所有權ヲ持ツテ居ルモノハ之ニ隸屬スルヤウナ形ニナル、ソレデハトデモ森林ニ投資スル人ハ無クナツテシマフ、サウ云フコトハ考ヘテ居リマセヌ、ソコデ今申上ゲマシタヤウニ、例ヘバ杉ナラ杉ノ理想的伐期ガ幾ラニナルト云フコトヲ學理的ニ見ルト、六十年カラ七十年ノ間ガ宜シイト云フヤウナコトニナツテ居ル、是モ其ノ土地ノ地質或ハ氣候風土其ノ他ニ依ツテ色違ヒマセウ、サウ云フヤウナ單ニ學理的ナコトノミカラ考ヘテ行キマス、其ノ場合ニ於テハ成程ソレガ國家ノ爲カラ言ヘバ、或ハソレガ一等理想カモ知レナイ、併シナガラサウ云フ理想ヲ強ヒルト云フコトハ此ノ際難カシイコトデアル、理想ト現實ノ間ノ相當ノ調和ヲ以テ二十年トカ二十五年ト云フヤウナ所デ、幼齡林ガ皆伐サレ、或ハ

大面積ノ五十町歩以上ノ山ガ一遍ニ皆伐サレル、斯ウ云フヤウナコトヲ防ガウト云フノガ大體森林法ノ主體デアツテ、ソレヲ施業案ト云フヤウナ範圍ニ於テ決メテ行カウト云フ譯デアリマス、ソコデ年々ノ成長量ヲ必ズ取ルトカ法正林業ニ導クトカ、斯ウ云フヤウナコトハ林學ノ學理上カラ言ヘバ其ノ必要ガアリ、國有林等ハサウ云フ意味ニ於テ經營シテ居リマスケレドモ、之ヲ私有林業ニ強フルト云フコトハ今日ノ所ニ於テマダ至難ト考ヘテ居リマス

○松尾(四)委員 サウスルトヤハリ個人ノ事情モ加ヘテ施業案ヲ編成スル、斯ウ云フヤウニ伺ヒマスガ、個人ノ事情ヲ加ヘルト言ツテモ、施業案ナルモノハ三年、五年ノモノデナイノデス、何十年モ向フノコトヲ定メルノデス、其ノ時ニソコノ家ノ事情ト云フモノガ何十年モ向フノコトヲ殆ド考ヘラレルモノデナイノデス、今其ノ時ニ即應シテ、例ヘバ貧家デハ早ク山林ヲ伐採シテ金ヲ拵ヘタイ、又富裕ナル家デハ成タケ伐期ヲ延バシテ行キタイ、斯ウ云フコトハ其ノ時一年トカ二年ノ間ノ問題デアツテ、何十年向フノ問題デハナイ、サウ云フコトハ、此處ニ書イテアリマシテモ、ドウモサウ云フコトニ之ヲ當嵌メル文字トモ考ヘラレナ

イ、サウスレバ、施業案ト云フモノハヤハ
リ理想的ナモノヲ立テテ、所謂完全ナモノ
ヲ立テル、又現在行ハレテ居ルモノハ現在
ノモノヲ其ノ儘認メテ施業案トスル、ソレ
デ宜イト思フノデアリマス、其ノ後ニ動キ
ガ起ル、ドンナ動キカト云ヘバ、今ハエラ
イ富豪デアツテモ、將來ドウ云フ財界ノ波
ニ遭ウテ凋落スルカモ知レナイ、又今貧家
デアツテモ、一躍大キナ富ヲ持ツカモ知レ
ナイ、ソレ等ノ人ガ山林ヲ持ツテ居ツテ、
初メ之ヲ編成スル當時ニハ、早く山ヲ伐リ
タイト思ツタガ、モウ伐ツテ貰ハスデモ宜
イノダ、詰リ六十年ノ伐期ノモノガ八十年
ニナツテモ宜イ、斯ウ云フ事情ニナツテ來
ル、又最初ハ八十年ノ伐期デモ宜カツタ
ガ、六十年ニシテ貰ハナケレバナラス、其
ノ後ノ自分ノ財産ノ變化デ早く伐ツテ貰
ハナケレバナラスト云フヤウニ、其ノ當時
ハ想像スルコトガ出來ナカツタコトデ、將
來何十年向フノコトガ私ハアルト思フ、
又アルコトハ當リ前デスガ、其ノ事ヲ今カ
ラ考ヘテ施業案ニ織込ンデ置クト云フヤウ
ナコトハ、ドンナコトヲ御考ニナル積リ
カ、實際ニ即シテ少シ私ハ其ノ方針ガドウ
モ諒解出來ナイ、寧ろ是ハ森林ノ適地適
木、又此ノ森林ヲ主體トシタル經濟的事情

ヲ入レタルモノ、個人ノ事情ヲ入レナイ所
ノモノヲ確然ト立テルノガ施業案ダ、ソレ
ヲ動カス方法ハ別ナ方法デアルノガ本當デ
ハナイカト思ヒマスガ、ドウモ今ノ説明デ
ハ、此ノ文字ガ入ツテ居ル爲ニドウ云フ施
業案ヲ立テルノカト云フコトガ頭ニ入ツテ
來ナイ、デスカラ、理想的ナモノヲ立テ
テ、ソレヲ動カス場合ノ條件ハ別ニ決メテ
行ケバ宜イノデスケレドモ、施業案ヲ立テ
ル時ニサウ云フ事情ヲ多少入レテ行クト云
フ御考ハ、ソレガ實際ニ山林所有家ノ事情
ヲ御考ニナルノデスカラソレハ宜イト思ヒ
マスガ、サウスレバ施業案ト云フモノハド
シナモノヲ立テルノカ想像ガ付カナイ、企
畫ト云フモノガ分ラナイ、ドンナモノヲ立
テラレルノデスカ、ソレヲドウ考ヘテ宜シ
イノデスカ、先程カラノ御答デハ其ノ點ガ
ドウモ明瞭ニナラスノデアリマス

ト云フヤウナコトモアラウト思フガ、普通
ノ所ノ林業デアレバ大體伐期等ハ何處デモ
決マツテ居ルモノデス、例ヘバ天龍邊リ
ナラ伐期ハ大體此ノ位、尾鷲デアレバ大體
此ノ位ト云フヤウニ決マツテ居リマスノ
デ、大體伐期モ其ノ所其ノ所ニ於テハ一定
スルダラウト思ヒマス、ソレガ即チ其ノ人
人ノ個人ノ希望ト云フモノヲ入レタ所ノ伐
期ニナラウト思ヒマス、ソコデ、此ノ施業
案ト云フモノヲ一度確立シタ以上ハ、アト
ハ全然變ヘナイノデヤナクシテ、國有林等
ニ於テハ十年々々ニ檢定シテ居リマス、此
ノ施業案モ、確立シマシテカラヤハリ十年
十年位ニハ見直ス必要モアルダラウシ、又
此ノ法律ニモ施業案ノ變更ト云フコトモ認
メテ居リマス、ソレデ事情ノ變化ニ依ツテ
伐期ヲ短縮シ或ハ伐期ヲ延スト云フコトモ
其ノ時々ニ於テハ出來ル、是ハヤハリ施
業案ノ變更デアツテ、ソレガ其ノ時ノ施業
案ニナルノデ、初メ決メタ所ノ施業案ヲ永
久ニ動かサナイト云フ趣旨デハ毫末モナイ
ノデアリマス、事情ノ變化ニ依リマシテ、
十年毎位ニハ定期的ニ一遍之ヲ見直シテ來
ルト云フ必要ガアルト思ヒマス、左様ニシ
テ實情ニ適スル施業案ニシテ之ニ依ツテ林
業ヲヤル、斯ウ云フ考デアリマス

○松尾(四)委員 ソレデハ其ノ施業案ノ變
更ヲ御認メニナツテ居ラレルノデアリマス
カ、サウ致シマス、其ノ變更ハ個人ノ事
情ニ依ツテ變更サレルノデアリマス、十
年毎ニ變更スル、即チ組替ヘルト云フコト
ハ、是ハドウモ、天然ノ自然ノ狀態ガドウ
變ルカ分ラナイノデスカラ、ソレニ應ジタ
ヤウニ變ヘヨウ、斯ウ云フノデスカラ、ソ
レハソレデ變ヘテ結構タト思フノデスガ、
ソコデ、人事的ト言ヒマス、個人ノ事情
デ變更ヲ許サレルノデスカ

○村上政府委員 個人ノ事情デモ理由アリ
ト認ムルモノハ是ハ許サナケレバナラス
思ヒマス、勿論勝手ナ濫伐ヲシタイト云フ
ヤウナ願出ガアツテモ是ハ認メマセヌ、合
理的ナモノデアレバ認メテ差支ナイト思ヒ
マス

○松尾(四)委員 サウ致シマス、個人ガ
變更ヲ希望シ願出ル場合ニハ、個人ノ已ム
ヲ得ザル事情ガアツテ願出ル、ソレガ即チ
此ノ山林ヲ早く伐採シテ金ニ換ヘタイ、所
謂換金シテ資金ヲ得ル爲ノ必要ナコトガ起
ル以外ニハ殆ドナイノデス、即チ資産狀態
ニ急ニ出費ヲ要シテ、其ノ支出ニ要スル資
金ヲ求メル爲ニ伐採ヲ早くシナケレバナラ
ス、ソレガ爲ニ施業案ノ變更ヲシテ貰ヒタ

イ、斯ウ云フコトガ人事的ニ起ルコトハ當然ダト思ヒマスガ、其ノ場合ニ之ヲ御許シニナレバドウモハ濫伐ト云フコトニナルト思フ、一定ノ施業案ヲ立テテ、其ノ施業案ヲ變ヘルノデスガ、變ヘルコトハ即チ濫伐デヤナイカト思フ、其ノ點ハ、サウ云フ場合ニハ當然御認めニナリマスカ、是ハ第何條カニアリマシタ生活ノ爲ニ伐採スルコトガ認めラレテ居リマスガ、其ノ他ノコトデモ手續ヲスレバ變更ヲ認めラレマスカ、變更即チ濫伐ダト思ヒマスガ、濫伐ハ許サヌケレドモ、變更ハ認めル、斯ウ云フコトニナルト其ノ點ガドウモ明瞭ニナラス

○村上政府委員 變更必ズシモ濫伐トハ考ヘテ居リマセヌ、五十年ノ伐期ヲ四十五年ニ短縮シテモ、是ガ濫伐ト云フコトニハナラスト思ヒマス、無論其ノ五十年ノ伐期ノモノヲ二十年デ伐ルト云フコトニナレバ濫伐ニナリマス、斯ウ云フモノハ、ソレハ其ノ人ガ一家離散ニ頻シテ、ドウシテモ困ル、是ガナケレバ一家ガ破滅ニナルト云フ特別ノ場合以外ニハ、是ハ全然認めマセヌ、サウ云フ個人的事情ハ認めマセヌ、ケレドモ、唯伐期ヲ五年短縮スルトカ十年短縮スルト云フヤウナコトハ、是ハ別ニ濫伐ニナラス、唯森林施業ノ變更ニ過ギナイ、

サウ云フコトナラ差支ナイト思ヒマス
○松尾(四)委員 サウ致シマスト、其ノ變更ノ程度ニ依ツテハ認めルガ、程度ニ依ツテハ認めナイ、斯ウ承知致シマシテ宜シウゴザイマスカ、ソレカラ個人ノ山林所有家ガ急ニ金ガ要ルト云フ場合ニハ、ヤハリ大體山ヲ伐採シテ、マダ伐期ニ達シナイモノデモ處分ヲシナケレバナラス場合ガ起リ得ル、又現ニサウ云フコトガ行ハレテ居ルカラ、今日濫伐ヲ防止シナケレバナラス状態ニナツテ來タト思ヒマスガ、ソレヲ濫伐ト御認めニナラレマスカ、モウ一點伺ツテ置キタイ

○村上政府委員 今日或モノニ付テハ濫伐傾向モアリマス、即チ非常ニ若イ木ヲ換金其ノ他ノ爲ニ伐ルト云フコトハ、是ハ濫伐ト思ヒマス、サウ云フコトハ差止メナケレバナラスト思ツテ居リマス
○松尾(四)委員 ソコハ非常ニハツキリシテ參リマシタ、ソコデ其ノ濫伐ヲ止メル場合ニハ何カ補償スルヤウナ制度デモ此ノ法令ノ何處カニ認めラレテ居ルノデスカ、其ノ場合ニ於テハ其ノ山林所有ニ對シテ何カ救済ノ途ガ講ゼラレテ居リマスカ
○村上政府委員 別ニ補償ノ制度ハゴザイマセヌ、何トナレバ其ノ稚イ木ヲ伐ラナイ

デ適當ノ伐期ニ伐採スレバ、其ノ方ガ經濟的ニモ價值ガアルノデアリマス、濫伐スルコトハ、立派ナ森林ニナルモノヲ安イ値段デムザ／＼亂賣スルコトニナルノデアリマスカラ、經濟的カラ言ツテモ決シテ徳ナコトデハナイト思フ、是ハ事情已ムヲ得ズサウ云フ風ニナツタノデアリマスカラ之ヲ差止メルコトニ依ツテ損失ガ來ルト云フ風ニハ考ヘテ居リマセヌノデ、補償ハ致シマセヌ、併シナガラサウ云フ場合ニ於テ金融等ノ途ヲ講ジル必要ガアラウト思ヒマスノデ、特ニ森林組合ニ於テマシテハ、斯様ナ場合ニ付テ組合員ニシテ貸付ヲ爲シ得ル

ト云フコトニ致シマシテ、サウ云フヤウナ稚イ木ヲムザ／＼伐ルコトヲ、其ノ方面カラ防ギタイト思ツテ居リマス
○松尾(四)委員 サウ云フ場合ニハヤハリ絕對ニ伐採ヲ差止メルト云フ御趣旨ノコトハ分リマシタガ、絕對ニ差止メラレルト、ソレダケ其ノ人ハ經濟的ニ非常ナ打撃ヲ受ケマス、今ノ御説明ニ依リマスト、經濟的ニハ其ノ森林ガ將來成長シタ後ニ伐ル方ガ利益デアツテ、今伐採スル方ガ寧ロ經濟的ニ言ヘバ損ナ時デアルカラ、其ノ時ニ抑ヘテ伐ラサナイヤウニスルコトハ宜イト云フ御考ノヤウデアリマスガ、資金ヲ急ニ要ス

ル時ニハ、山林所有家ハ相當ノ高利ヲ拂ツテモ資金ヲ求メナケレバナラス、殊ニ辨濟期ガ明瞭デナケレバ、尙ホ高利ナモノヲ拂ハナケレバナラスノガ、日本ノ現在ノ金融情勢デアリマスカラ、ソレガ爲ニ寧ロ金利ガ重ナツテ行クト云フコトニナレバ、相當ナモノニナツテ來ルノデ、今度山林ノ伐採期ニナツテ其ノ山林ノ全部ヲ賣拂ツテモ、モウ到底追付カヌヤウナコトニナルト云フコトハ、殆ド現在ノ實情デ考ヘラレマス、其ノ點ヲ何カ救済スル途ガナケレバ、一時借入金ヲ以テ其ノ場ヲ凌イデ行カウトシテモ山林ハ非常ニ長期ニ互ルモノデアリマシテ、其ノ長期ニ互ル間金利ヲ拂ツテ居レバ、山林ヲ賣拂ツタ位デハ到底支拂ガ付カスト思フ、サウスルト、若シ其ノ金ヲ全部森林組合ノ方デ融通シタト致シマスト、森林組合ノ方ニ缺損ガ殘ルト考ヘナケレバナラスト

思フノデアリマスガ、サウ云フ場合ニ付テハドウ御考ニナラレマスカ、私ノ申上ゲルノハ、實情サウ云フコトニ遭遇スルト假定シテノ問題デアリマスガ、實際今日ノ山林金融ハ長期ノモノデアリマスカラ、少々安クテモ稚木ヲ早く賣ツテヤハリ資金ヲ得テ置ク方ガ、將來其ノ山林ガ成長シテ伐期ニナツテカラ賣ルヨリモ、算盤ノ上デハ徳ニ

ナルノデズ、ソレガ爲ニ今稚木ヲ伐ツテ居ルノデズ、濫伐ニナルノデズ、ソレデスカラ、ソレニ對シテハ長期ニ互ツテ利子ヲ拂ツテ居レバ、遂ニ其ノ利子ニ追ハレテ支拂ガ出來ナクナル、サウ云フ支拂ガ出來ナクナルヤウナモノニ對シテ假ニ森林組合ガ融通シテ居ルトスレバ、今度ハ又森林組合ガ其ノ決濟ニ差支ヘルヤウナコトガ起リハセヌカト云フコトヲ憂ヒマスガ、ソレハサウ云フヤウニ御考ニナラレマセヌカ、ドウ云フ風ニ御考ニナツテ居ラレマスカ

○村上政府委員 森林ノ金融、森林ニ對スル貸付ハ、是ハ組合デヤラナケレバナラスト思ヒマス、ソコデ成ベク斯ウ云フ資金ニ對シテハ低利ノ資金ヲ廻スコトガ極メテ必要デアリマシテ、サウ云フ方面ニ對シテ政府ト致シマシテモ更ニ一層機構ノ改善ヲ致サナケレバナラスト考ヘテ居ル次第デアリマス、是ハ大臣ノ本會議ニ於キマスル所ノ答辯、或ハ午前中ニ於キマスル所ノ政務次官ノ答辯ニモアリマスヤウニ、私共ノ方ニ於キマシテモ、現在大藏省關係、或ハ其ノ他銀行ノ關係、或ハ森林當業者ト云フヤウナ人ノ意見ヲ今カラ十分聽キマシテ、何カ更ニ森林金融改善ノ方策ヲ講ジタイト考ヘマス、尙ホ今回森林組合ガ組合員ニ貸付ヲ

致シマス場合ニ於キマシテハ、是ハ今後森林組合ガ十分ニ組合ノ施業ヲ監督シテ參リマシテ、ソレデ稚木ノ時ニ金ニ換ヘル爲ニ早伐スルト云ツテモ、十五年以下ノ木ヲ伐ルコトハ、サウ云フコトハ伐ツテモ殆ド金ニナラス譯デアリマスカラ、是ハ出來ナイコトデアリマスガ、十五年以下ノ木ヲ早伐スルコトヲ止メテ、金ヲ借リル、二十年位カラハ間伐收入モ相當ニ出テ來マスカラ、サウ云フモノニ依ツテモ借リタ金ハ一方ニ於テ合理的ニ森林ヲ施業シテ參レバ、年賦償還ノ形デ伐期ニ達スル前ニ於テモ、場合ニ於テハ返シ得ル、斯ウ考ヘマス、尙ホ此ノ度森林組合ガ組合員ニ金ヲ貸ス場合ニ於テ、森林組合自身ノ資金ノミナラズ或ハ勸業銀行、農工銀行ト云フ方面カラ金ヲ借りルヤウナコトモアリマセウガ、斯様ナ場合ニハ、現在トハ違ツテ——現在ハ金融業者ト森林所有者トノ間ノ金融ト云フコトハ、金融業者ハ都會ニ居リ、森林ハ山奥ニアリマスノデ、金融業者ガ一々施業ヲ監督スルコトハ出來ナイ、ソコデ知ラズ識ラズノ間ニ擔保物ノ價值ガ減少シテ行クト云フヤウナコトモアラウト思ヒマス、所

ガ此ノ度森林組合ガ中ニ入ツテ、森林組合ガ金融業者ノ方ニ對シテハ債務者ニナリマ

ス、組合員ニ對シテハ債權者ニナルト云フヤウナ形ニナリマスカラ、結局森林組合ガ眞中ヘ入ッテ一ツノ保證ヲシタト同ジヤウナ形ニナルノデ、森林組合ハ此ノ度ノ法律ニ依ツテハ組合員ノ施業ニ對シテハ十分之ヲ監督シ指導スル所ノ責務ヲ持ツテ居リマスノデ、擔保物ノ價值ガ段々知ラナイ裡ニ無クナツテシマフ、或ハ施業ガ減々々ニナツテ、稚木ガ何時ノ間ニカ濫伐サレテ無クナツテシマフト云フヤウナコトハナイト思フ、此ノ點カラ言ヒマシテモ相當森林金融ハ改善サレルト思ヒマス、併シナガラ勿論是デハ十分デナイノデアリマシテ、更ニ一層改善方ニ付テ、殊ニ低利ナル所ノ金ヲ豊富ニ廻スト云フコトニ付テ一層研究ヲシナケレバナラスト斯ウ考ヘテ居リマス

○松尾(四)委員 是ハ今政府委員ノ御説明ノ通り、サウ云フ採算的ノモノナラバ、ソレハ非常ニ宜イノデズ、併シ中々サウ云フ風ニ參リマセヌノガ私ハ現狀ダト思ヒマス、ソコデ茲ニ非常ナ大改革ヲヤラレテ、特ニ森林金融ニ對シテ別ナ途ヲ政府ガ考ヘテ、ウント低金利デ此ノ金融ノ途ヲ開クト云フコトノ御考ガアリ、且又サウ云フ採算ガ採レル見込ガアルト云フコトデアレバ、サウ云フコトデ進メルト思ヒマスカラ、此ノ點ハ一應御説明ヲ承ツテ置ク程度ニシテ置キマス

更ニ私ハ次ノコトヲモウ一點伺ヒタイ、ソレハ此ノ組合ヲ一村ヲ單位トシテ作ルト云フコトデスガ村外カラ山林ヲ所有シテ居ル者ガ、數箇村ニ互ツテ所有シテ居ル場合ニハ、數箇村ノ組合員ニナラナケレバナラスト思フノデスガ、其ノ數箇村ノ組合員ニ入ルコトハ御認メニナツテ居リマスカ

○村上政府委員 原則トシテサウナラウト思ヒマス

○松尾(四)委員 其ノ村外ノ者モ其ノ組合ノ役員トナルコトガ出來マスカ、若シ役員ニナル場合ニハ數箇村ノ組合ノ役員ニモナレルカドウカ

○村上政府委員 村外ノ者デモ組合員タル資格ニ於テハ其ノ村内ノ人ト同一デアリマスカラ、役員其ノ他ニナレマス、隨テ數組合ノ役員ニモナレマス

○松尾(四)委員 ソレカラモウ一ツ伺ヒタイノハ、今現ニ在ル山林ニ抵當權ヲ設定シテ金ヲ借りテ居リマス者ハ、今度ノ施業案トノ關係ハドウナリマスカ、言換ヘマズレバ施業案ニ依レバ、施業案ノ伐期ガ來ルニアラザレバ其ノ山林カラハ資金ガ得ラレナイ、併シ抵當權者ガ直チニ抵當權ヲ實行ス

レバ、之ヲ處分スル權利ヲ持ツテ居リマス
カ、即チ民法上ノ抵當權ト此ノ施業案トノ
關係デスガ、是ハドウナツテ居リマスカ

○村上政府委員 抵當權ノ實行ハ結局所有
權ヲ取ルト云フコトデアリマシテ、森林ノ
伐採ト云フコトト直接關係ハゴザイマセ
ヌ、ソコデ其ノ點ハ別ニ抵觸スルコトハナ
カラウト思ヒマス

○松尾(四)委員 所有權ヲ取ルト云フコト
ガ抵當權ノ目的デアル、サウ致シマスと抵
當權ガ設定シテアツテ、抵當權者ニ其ノ所
有權ガ移ツテモヤハリ施業案ヲ實施シテ行
カナケレバナラヌノデアルカラ伐採ハ濫リ
ニ出來ナイ、斯ウ云フコトニナルト思ヒマス
ガ、サウナレバ今ノ抵當權ヲ取ツテ貸付ケ
テ居ル抵當價值ニ關係シテ來ル、ソレハ貸
シテ居ル者ハ、何年何月ニ返ス、若シ返サ
ナイ時ニハ其ノ抵當權ヲ勝手ニ處分シテ吳
レト斯ウアル、此ノ處分即チ伐採モ出來レ
バ其ノ儘所有スルコトモ出來マスガ、伐採
ノ出來ルト云フコトニ依ツテ換金——資金
ヲ得ルコトガ出來ル、ソレガ今既ニ抵當權
ノ行ハレテ居ル者ニハ非常ナ大關係ガアル
ノデアリマスガ、關係ガ無イヤウニ御考ニ
ナツテ居ラレマスカ、關係ガアルケレドモ、
ソレハ已ムヲ得ナイト、斯ウ御考ニナラレ

マスカ

○村上政府委員 抵當權ヲ實行致シマス場
合ニ於テハ、是ハ其ノ土地森林共ニ之ヲ競
賣ニ附スルト云フコトデアリマシテ、隨テ
抵當權者ガ或ハソレヲ自ラ自分ノ物ニシタ
場合ニ於テモ、施業案ニ依ツテ無論是ハ拘
束サレマス、ソコデ幼齡林デアレバ是ハ伐
採出來マセヌ、併シナガラ現ニ斯ウ云フ森
林法ノ改正ガナイ場合ニ於テモ、抵當權者
ガ幼齡林ヲ伐採スルト云フヤウナ處分ノ方
法ハ是ハ損ナ方法デアリマシテ、寧ロ其ノ
儘外ノ人ニ造林地トシテ賣渡スカ、或ハ自
分デソレヲ管理シテ相當ノ時ニ達シタ後ニ
於テ之ヲ伐採スルト云フコトガ抵當權者カ
ラ言ツテモ有利ナデアリマスカラ、決シ
テ幼齡林ノ伐採ガ抑制サレタコトニ依ツテ
抵當物ノ價值ガ少クナルト云フコトハ無イ
ノデアリマシテ、寧ロ森林ノ施業ガ合理化
サレルコトニ依ツテ抵當物ノ價格ハ高マル
カラ、抵當權者ノ方カラ言ヘバ損ハ無イ、
或ハ非常ニ換金急ギサレル所ノ抵當權者
等ニ於テハ或ハ一時換金ガ出來ナイト云フ
コトハアリマセウガ、是ハドウモ已ムヲ得
ナイト思ヒマス

○松尾(四)委員 ソレハ相當重大ナ問題デ
スガ、餘程ハツキリシテ置カスト、是ハ將來

ニ問題ガ起ルト思ヒマスガ、抵當ニ取ツテ
金ヲ貸シテ居ル人ハ、抵當權ヲ實行スレバ
モウ直チニ處分サスルト云フコトヲ考ヘテ
金ヲ貸シテ居ル、ソレデスカラ將來ニ其ノ
森林ガドウ云フ利益ヲ生マウガ生ムマイガ
ソレハ構ハナイ、貸シタダケノ金ヲ取ラナ
ケレバナラヌ元利ヲ取ラナケレバナラヌ、
斯ウ云フノデ處分スル、其ノ處分ト云フノ
ハ即チ伐採ナノデス、サウシテ直チニ材木
業者ノ手ニ渡シテ之ヲ換金スル、ソレガ假
ニ施業案ノ通りニヤツテ行ケバ、其ノ森林
ノ價值ガ殖エルノダカラモツト持ツテ居ツ
タラ宜イノデハナイカト言ツテモ、金ヲ貸
シテ居ル人ハサウ云フモノデハナイ、銀行、
信用組合等ハヤハリ期限ニハキチツト金利
ガ入ラナケレバナラヌ、若シ金利ガ入ラナ
イ場合ニハ元利ヲ計算シテ出サナケレバナ
ラス、今アナタノ仰セラレルヤウニ施業案
ノ通りヤツテ行クト伐期ガ來ルマデ山ハ伐
レナイ、少クモドンナ良イ山デモ六十年位
マデハ最後ノ伐期ガ來ナイ、其ノ間ニ何年
目ニカ、五年目トカ十年目位ニハ間伐シテ
其ノ金デ漸ク資金ガ得ラレル、其ノ資金ダケ
ヲ返シテ決シテ抵當權者ハ濟マナイ、假ニ抵
當權者ノ所有ニナツテ利益ニナルノダカラ
ト云ツテモ、ソレハ借金ノ決濟ニハナラナイ、

ソナコトハ恐ラク大藏省ハ認メマセヌ、
銀行ノ決算ニ於テモ此ノ山ハ幾ラ價值ガア
ルノダカラト云ツテモ、期限ガ來レバナゼ
取ラナイカト云フコトニナル、ソレハ非常
ナ關係ガ起ルト思フ、私ハ其ノ點ハ現在詰
リ民法上ニ決メラレタル抵當權ヲ實行スル
ト言ヘバ、之ヲ競賣ニ附シテ、サウシテ市
場ニ出ス、伐採シテ其ノ金ヲ舉ゲル、斯ウ
云フコトニ依ツテ決濟ヲ付ケテ居ル、施業
案デ拘束サレタラソレガ來マセヌ、デスカ
ラ施業案ノ爲ニ拘束ヲ受ケテ伐採ガ出來
ナイト云フコトニナレバ、金融界ニ於テ相
當ナ變革ガ起ル、ソレハ又別ニ議論シナケ
レバナラヌト思フノデスガ、言ヒ換ヘレバ
抵當權ヲ設定シテ貸シテ居ル山ニ施業案ヲ
實施シテ行カレル、斯ウ云フコトニナレバ
抵當權ヲ實行スルニ當ツテ、其ノ山ヲ濫リ
ニ伐採ヲシテ金ニ換ヘルコトガ出來ナイト
云フヤウナ場合ガ起ルガ、ソレハ御認メニ
ナツテ居リマスガ、斯ウ云フコトデス

○村上政府委員 抵當權者ト雖モ恐ラク幼
齡林ヲ伐ルト云フヤウナコトハ、換金處分
トシテ餘リヤラレナイダラウト思ヒマス、
是ハ特別ナ場合ナラバ兎モ角モ、普通ノ場
合ニ於テ、二十年デ伐ツテハ其ノ山ノ價值
ト云フモノハ幾ラモアルモノデナイノデア

リマシテ、左様ナ抵當權ノ實行方法ハ恐ラク普通ノ場合ニ於テハナイト思ヒマス、勿論代期ニ達シタモノデアレバ、是ハ山ヲ伐レバソレデ出来ルノデアリマスカラ、山ガ代期ニ達シタモノニ付テハ、勿論此ノ施業案ガ出来マシタ場合ニ於テモ、ソレハ差止メルドコロデナク、ソレハ當然認メナケレバナラナイ、又伐期ニ達シナイモノデモ年々間伐ヲ集約的ニ實行スルト云フコトハ施業案トシテ當然要求スル所デアリマスカラ、サウ云フコトニ依ツテモ是ハ出来ルト思ヒマス、尙ホ抵當權ノ實行ノ場合ニ於テハ木ヲ伐ルト云フコトバカリデナク、山其ノモノヲ他人ニ其ノ儘賣渡スコトモ出来ルノデアリマスカラ、必ズシモ伐ツテシマハナケレバナラヌト云フコトハナイ、伐ルト云フコトガ抵當權ノ實行デハナイノデアッテ、抵當權ノ實行ト云フノハ其ノ山ヲ處分スルコト——山ノ處分ト云ヘバ其ノ森林ノ儘處分スルト云フコトガ普通ノコトデアリマシテ、唯伐期ニ達シテ居ル所ノモノ等ニアリマシテハ、其ノ中ノ木ダケヲ處分スルコトニ依ツテ金ニ換ヘラレルカラ、必ズシモ全部ノ賣渡行爲ヲシナイト云フコトニナリマスノデ、決シテ此ノ抵當權ノ實行ガ施業案ニ依ツテ妨ゲラレルコトハナイト思ヒマス、

勿論幼齡林等ヲ伐ルコトハ是ハ出来ナクナリマスガ、是ハ抵當權者ノ實行處分トシテモ極メテ拙劣ナ方法デアッテ、サウ云フコトハ普通ノ場合ニ於テハ抵當權者ト雖モ、期待シテ居ラスコトト思ヒマス

○松尾(四)委員 抵當權ヲ實行スルコトハ、施業案ニ依ツテ妨ゲラレルコトガナイ、斯ウ言ハレマス、即チ抵當權ヲ實行スルト云フコトハ所有權ヲ移スノダ、斯ウ仰セラレ

ルノデスガ、勿論サウデス、所有權即チ處分權ヲ移サレル、ソコデ何ノ爲ニ抵當權ヲ設定シテ居ルカト云ヘバ、金ヲ借りタモノヲ返サヌ場合ニ、此ノ抵當權ヲ以テ金ニ換ヘテ呉レト云フノガ抵當權デアリマス、ソコデ金ニ換ヘナケレバナラヌノデス、山ヲ所有シタイカラ抵當ニ取ツタト云フノデハナイノデス、金ヲ返サヌ場合ニハ、其ノ決裁ニ充ツル爲ニ是デ金ニ換ヘテ呉レ、金ニ換ヘルノニハ其ノ山ヲ賣ラナケレバナラナイ、賣ルノニハ勿論施業案ノ付イタ儘デ賣レバ賣レヌコトハナイデセウ、其ノ意味ニ於テハ今局長ガ仰セラレタト同ジデアリマスケレドモ、先刻來屢、申上ゲマシタヤウニ、山林ノ成長シテ行ク率ハ私ハ金利ヨリハ經濟的ニハ少イト思フノデス、金利ノ方ガ多クナツテ成長率ノ方ガ金ニ換算シタラ少イ、

デスカラ例ヘバ金ヲ借りテ山林ヲ持ツテ居リマシタナラバ、結局借りタ金ノ方ガ多クナツテ、山ヲ賣ツタ時ニハ山代デ金ノ決済ガ付カヌト云フノガ現状ナンデス、ソレヲ何人デモ抵當權ヲ實行シテ、此ノ山ハ今伐採ガ禁止サレテ居ルガ、誰カ買手ハナイカト言ウテモソレハ買手ガナイノガ實際ノ實情デス——買ハヌコトハアリマセヌガ非常ニ安ク見ラレル、結局其ノ時ノ山林ヲ直チニ伐採シテ市場ニ出セルト云フコトガ抵當權ノ實行ニ當ツテハ非常ニ價值ガアルノデス、必ズサウ云フコトガ行ハレルト思フノデス、ソコデ施業案ト云フノハ伐期マズツト何年カ毎ニ幾本カ宛ヲ間伐シテ行ク、斯ウ云フコトガ施業案ノヤウニ私ハ考ヘテ居ルノデスガ、結局施業案ヲ實施シテアル以上ハ最後ノ伐期ガ來ルマデ山ハ伐レナイ、斯ウ云フコトデアレバ金ニ換ヘルニハ最後ノ伐期ガ來ナケレバ金ニ換ヘラレナイ、所ガ抵當權ト云フモノヲ設定サレテ居ル山林ハ、期限ハ一年トカ二年トカノ程度デス、今日勸業銀行、農工銀行アタリデモ十年カ十五年程度デス、デスカラ必ズ所謂施業案ノ伐期ガ來ル前ニ金ニ換ヘナケレバナラヌ時ガ來ルノデスガ、其ノ山林ガ施業案デ縛ラレテ居ル、斯ウ云フコトニナルト、債權ヲ決

濟スルダケノ金ヲ得ルコトガ非常ニ困難ナノデス、困難ナルノミナラズ殆ド出来ヌヤウナコトガ起ルト思フノデアリマスカ、ソコデ施業案ニ依ツテ妨グルコトナシト斯ウ御考ニナツテ居リマスケレドモ、施業案ト云フモノハ何處マデモ實施シテ行カナケレバナラヌト云フコトニ、此ノ法律ノ建前カラハ法ガ強制シテ居ルカラサウナルノデス、サウナルト今抵當ニナツテ居ル山林ニ遡ツテ——何ト云ヒマスカ、ソレヲ侵害シテ行ク、抵當權者ノ方モ侵害サレマスガ、山林所有者ノ方ニモ是ハ非常ニ不利益ヲ齎ツテ及ボス、何故カト云ヘバ、施業案ト云フモノガナケレバ、相當ナ値段ニ賣レルカモ知レナイ、ケレドモ施業案ガアル以上ハ、時ガ來ルマデ伐木ガ出来ナイノデアリマスカラ、ドウシテモ値段ガ安クナルヤウニ思フ、サウスレバ安ク賣ルダケ損スル、其ノ損ヲヤハリ山林所有者ガ負擔シナケレバナラヌ、斯ウ云フコトニナルノデアリマス、ソコデ現在抵當權ヲ設定シテ居ルモノニモ此ノ施業案ヲ實施スル、斯ウ云フコトデアレバ、何等カ之ニ救済ノ途ヲ講ズル必要ガアル、斯ウ考ヘルノデアリマスカ、如何デアリマスカ

○村上政府委員 其ノ點ハ、ドウモ松尾サ

シノ御意見ト私ノ意見トガ少シ違フヤウニ
思ヒマス、元來抵當權ヲ取ツテ居ル山ハドウ
云フ山ガ多イカト云フト、既ニ伐期ニ達シ
テ居ル山ガ抵當權ノ客體ニナツテ居ルノガ
普通デアリマス、尤モ造林地等モ取ツテ居
ルデアリマセウガ、併シナガラ造林地ヲ抵
當權ニ取ツテ居ル者ハ、抵當權ヲ實行シタ
時ニ、マサカ十五年ヤ二十年デ伐ラウト考
ヘテ居ル者ハ恐ラクナイト思ヒマス、左様
ナコトデアレバ、將來非常ナ價值ニナルモ
ノヲ、ソレヲ僅ニ其ノ三割或ハ二割ト云フ
ヤウナ安イ値段デ處分シナケレバナラスコ
トニナリマスカラ、左様ナコトハナイノデ、
普通抵當權ノ客體トナツテ居ル山ハ既ニ伐
期ニ達シテ居ル山、將ニ伐期ニ達セントス
ルヤウナ山ガ、抵當權ノ客體ニナツテ居ル
ノデアリマスカラ、此ノ際施業案ヲ作り
マシテモ、抵當權者ガソレニ依ツテ實行ヲ妨
ガラレルコトハナイト思ヒマス、又此ノタ
ビ施業案ガ出來ルコトニ依ツテ、森林ノ價
値ガ減殺サレハシナイカト云フ御話デアリ
マシタガ、私共ハサウハ考ヘテ居リマセヌ、
合理的ノ施業案ガ立テバ、寧ロ森林ノ價值
ハ上ルト思ヒマス、何トナレバ現在ニ於テ
モヤハリ合理的ノ施業案ヲ採ツテヤツテ居
ル所ノ林業先進地ノ森林ノ方ガ、ドウシテ

モ林地トシテノ價格モ良イノデアツテ、最
惡林相地或ハ勝手ナ作業ヲシテ居ルヤウナ
森林ハ、抵當物トシテノ價值モナケレバ、
賣買價值モ低イト云フノハ、是ハ明ナ事實
デアリマシテ、相當ナ合理的施業ヲ執ラレ
テ居ルト云フコトガ森林ノ價值ヲ上ゲル所
以ダト思ヒマス、尙ホ抵當權ヲ實行スル場
合ニ於テ、例ヘバ今マデノ伐期ガ五十年デ
アツタ、所ガ抵當權ヲ實行シテ今伐採シナ
ケレバナラスガ、後五年待タナケレバナラ
ヌカト云フヤウナ場合ニ於テハ、是ハ伐期
ノ短縮デアルトカ、施業案ノ變更ガ何時デ
モ出來ルノデアリマス、前カラ御説明申上
ゲマシタヤウニ、事情ノ變更ニ依ツテハ伐
期ノ短縮ト云フコトハ當然認メテ宜シイノ
デアリマスカラ、其ノ點カラ言ツテモ、施
業案ニ依ツテ抵當權ノ實行ハ大體ニ於テ支
障ヲ受ケルコトハナイト考ヘマス
○松尾(四)委員 ドウモ施業案ト云フモノ
ヲ嚴格ニ行ツテ行クト云フコトガ本案ノ趣
旨デアラウト思ヒマスカラ、其ノ點カラ私
ハ此ノ論ヲ立テテ居ルノデアリマス、今山
林局長ノ仰セラレルヤウニ、マア如何様ニ
デモナルノダ、ドウ云フ風ナ立テ方デモ
宜イノダト云フナラバ、是ハ今日茲ニ私ガ
議論スル必要ハナイ、私ガ一番先ニ聽キマ

シタヤウニ、此ノ施業案ヲ立テル根本方針
ハ所謂確固不動ナモノニ立テル、所謂適地
適木、其ノ地方ノ經濟的價值モ考ヘテビ
チツトシタモノヲ立テテ、之ヲ動カス場
合ハ別ナ方法デアル、國トシテノ森林政策
ト云フモノハチヤント決ツテ居ル、其ノ決
ツタモノヲ一元的ニ全國的ニヤツテ行ク、
個々ノ事情ノ變更ニ依ル動キハソレハ別ナ
動カシ方ヲスルノダト云フノデナケレバ、
施業案ト云フモノハ價ハ値ガ無イ、施業案ト
云フモノヲ一定ノ計畫ニ合ハセテビチツト
シタモノヲ立テテ行クナラバ宜シイガ、施
業案ハ色々ナ事情デ動クノデ、少シ位早ク
伐ツテモ宜イノダ、斯ウナレバ、ソレハ問
題ニナラナイノデアリマス、ソレデハ施業
案ノ價值ハ無イノデス、施業案デ縛ル譯ハ
ナイ、施業案デ縛ツテ伐採ヲ禁止スルト云
フ制限ヲ加ヘルナラバ、サウ云フ問題ガ起
ルト云フ譯デアル、其處ニサウ云フユトリ
ガアルナラバ、ソレハ問題ハアリマセヌカ
ラ、私ノ方ガ間違ツテ居ルノカモ知レマセ
ヌ、併シ其處ハ此ノ實施ニ當ツテ色々ナ實
際的ナ障礙ガ起ルコトト思ヒマス、私ハ更
ニ其ノ點ニ付テ私ノ申上ゲテ居ルコトガ違
ツテ居ルカ、局長ノ御考ハ間違ヒハナイト
思ヒマスケレドモ、ドウモ納得シ兼ねマス

カラ、別ノ機會ニ於テ又更ニ質問ノ時間ヲ
與ヘラレンコトヲ希望シマシテ、後ノ治山
治水ノ問題ヲ少シ聽キタイノデスガ、是ハ
別ノ機會ニ質問ノ時間ヲ與ヘテ戴クコトニ
シマシテ、是デ一應私ノ質問ヲ終ツテ置キ
マス
○小山委員長 松尾君、治山治水ニ關スル
質問ハ内務省ノ土木局長ガ見エテ居リマシ
タケレドモ、先程貴族院ノ方ニ答辯ノ必要
ガアリマシテ行カレマシタ、次會デモ願ヒ
マセウ、今日ハ此ノ程度デ……
○松尾委員 今日ハ宜シウゴザイマス
○小山委員長 本日ハ此ノ程度ニ止メマシ
テ、次會ハ明日ノ午後一時カラ本委員會ヲ
開會シタイト思ヒマス
午後四時十三分散會